

令和元年度

事業年報

日本赤十字社青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

はじめに

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様の深いご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、去年は、令和という新たな時代が幕を開け、日本赤十字社としても新しい名誉総裁をお迎えいたしました。さらに、近衛社長が退任し、大塚副社長が社長に就任するとともに、来たる創立150年に向けて「長期ビジョン」を策定するなど、日本赤十字社にとって大きな節目となる一年でした。

その一方、国内外においては、地震、大雨、台風等による災害が相次ぎ、8月の九州北部豪雨をはじめ、台風第15号、19号などにより各地に甚大な被害が生じ、多くの尊い命が奪われました。

このような中、日本赤十字社では、「人間の命と健康、尊厳を守る」という赤十字の使命のもと、これらの災害発生時には全社をあげて救護活動を行ってきました。台風第19号災害においては、当支部もいち早く宮城県に医療救護班の派遣などを行いました。

令和2年1月末頃から新型コロナウイルス感染症が全世界で急速に拡大し、我が国においても社会経済が大きな影響を受け、厳しい状況にあります。こうした時であればこそ、人道的任務の達成を使命とする日本赤十字社の果たすべき役割はますます重要になっています。

当支部としては、厳しい環境下にあっても、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社青森県支部

目 次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	11
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	12
4. 赤十字奉仕団	14
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	31
7. 社会福祉事業	33
8. 医療事業	35
9. 血液事業	37

II 社資募集と赤十字思想の普及

10. 活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況	42
11. 赤十字思想の普及と広報活動	50
12. 青森県赤十字有功会	54

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	56
14. 令和元年度一般会計・特別会計決算報告	57
15. 支部役員・評議員	60

日本赤十字社長期ビジョン	61
--------------	----

赤十字の組織と機構	62
-----------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	63
---------------	----

1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか救護資材を整備し救護体制を万全にするように努めている。

なお、令和元年10月に発生した台風第19号について、災害派遣医療チームDMA T（八戸赤十字病院）を宮城県仙南保健福祉事務所へ、医療救護班（八戸赤十字病院）を宮城県丸森町に派遣したほか、義援金の募集受付を行った。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。

また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品名	数量
毛布	342
緊急セット	173

(救援物資の市町村別交付状況は、6、7ページ参照)

(2) 国内災害義援金受付状況

区分	件数	金額
東日本大震災義援金	33件	842,556円
平成28年熊本地震災害義援金	7件	16,610円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	8件	137,099円
平成30年7月豪雨災害義援金	18件	160,315円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	26件	190,424円
令和元年8月豪雨災害義援金	31件	377,185円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	52件	1,022,050円
令和元年台風第15号東京都義援金	17件	189,753円
令和元年台風第19号災害義援金	168件	16,501,286円
合計	360件	19,437,278円

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたる。

当支部では、八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和元年度は、日赤本社の救護班編成基準(※)に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常 備 要 員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練のため、次のとおり各種災害救護訓練へ参加した。

訓 練 名 称	場 所
青森県総合防災訓練	三沢市
青森県SCU設置運営訓練	青森市
青森県災害対策本部健康福祉部図上訓練	青森市
青森県原子力防災訓練	むつ市
青森県保健医療調整本部図上訓練	青森市
八戸赤十字病院災害対応訓練	八戸市

※日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練及び青森県石油コンビナート等防災訓練は、令和元年台風第19号災害の救護のため中止された。



青森県総合防災訓練の様子



青森県原子力防災訓練の様子

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論はめまぐるしく変化しており、特に災害発生直後に救出活動と連携して行われる医療活動であるDMAT活動については、日本赤十字社においても、DMATチームを養成し、これに取り組んでいるところである。

当支部においても、八戸赤十字病院が青森県よりDMAT指定医療機関としての指定を受け、DMATチーム3チームを保有している。

また、当支部では、現場でDMATチームと協働することを想定して、救護班養成のための研修・訓練カリキュラム（SPDT：Small Packaged Disaster Training）に基づく研修及び指導者養成研修を実施している。

令和元年度 基礎研修 受講者 32名 / 中級研修 受講者 12名

(4) 災害救護装備について

① 県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和元年度の天幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天幕	72	献血PR、奉仕団研修会、防災訓練
担架	6	防災訓練
移動炊飯器	85	奉仕団研修会、防災訓練

(天幕等の使用状況は6、7ページ参照)

- ・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では赤十字の理念とする「人道・博愛」の心を赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和元年度の配置事業の概要は以下のとおり。

◎車両配置先及び配置月日

藤崎町 7月22日

三沢市 7月23日

佐井村 7月25日

蓬田村 7月29日

◎配置車両 日産 セレナ 4WD / 2000cc / 8人乗



写真は佐井村での博愛号配置式の様子

(「博愛号」の使用状況は8、9ページ参照)

(5) 令和元年台風第19号災害に対する青森県支部の対応

【台風の概要】

- ①上陸日時 令和元年10月12日
- ②上陸地点 静岡県伊豆半島
- ③最大瞬間風速 43.8m/s
- ④降雨量 神奈川県箱根 1000mm
東日本17地点 500mm以上

⑤被害の状況

死者	104名
行方不明者	3名
負傷者	384名
住家被害	全壊・半壊 33,332棟
	一部損壊 37,320棟
	床上浸水 8,129棟
	床下浸水 22,892棟

【救護の活動等】

①災害医療派遣チームDMATの派遣

派遣したDMATは、八戸赤十字病院の医師1名、看護師2名、業務調整員2名の計5名の編成である。10月15日に宮城県仙南保健事務所内DMAT活動本部に派遣され、主に丸森町保健調整本部において活動を展開した。

○派遣概要は次のとおり

- 10月15日（火） 八戸赤十字病院 出発
宮城県仙南保健事務所内DMAT活動本部へ派遣
丸森町保健調整本部へ移動
段ボールベッド100個作成
国保丸森病院より病院避難患者1名を搬送
- 10月16日（水） 丸森町保健調整本部にて活動
国保丸森病院より病院避難患者2名を搬送
- 10月17日（木） 丸森町調整本部にて活動
段ボールベッド30個作成
⇒活動を終了し八戸赤十字病院帰着



DMATミーティングの様子



救護班ミーティングの様子

②医療救護班の派遣

派遣した救護班は、八戸赤十字病院の医師1名、看護師3名、主事1名、薬剤師1名、支部職員1名の計7名の編成である。10月19日に宮城県仙南保健事務所に派遣され、主に丸森町役場において救護活動を展開した。

○派遣概要は次のとおり

- | | |
|-----------|---|
| 10月19日（土） | 1 個班 八戸赤十字病院 出発
宮城県仙南保健事務所へ派遣⇒丸森町へ
支援者支援のための環境整備
処方箋等の対応 |
| 10月20日（日） | 丸森小学校・丸森まちづくりセンターのアセスメント等 |
| 10月21日（月） | 救援物資の輸送の手配等 |
| 10月22日（火） | こころのケア活動等 |
| 10月23日（水） | 救護活動⇒引継ぎ⇒丸森町役場出発
八戸赤十字病院帰着 |

令和元年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区分 市町村名	災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考		
	り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器			
			全焼	半焼											
市	青森市														
	青森市	11	35	6	5	0	35	14	5,000	0	0	0	2		
	青森市浪岡	3	4	0	2	0	4	2	5,000	0	0	-	1		
	弘前市	16	45	13	3	0	34	16	50,000	0	0	0	4		
	八戸市	22	54	3	8	10	51	22	5,000	-	-	-	2	炊飯器 2器	
	黒石市	2	2	0	2	0	2	2	0	0	0	0	3		
	五所川原市														
	五所川原市									1	-	-	2		
	五所川原市金木	2	4	2	0	0	3	1	5,000	1	-	-	2		
	五所川原市市浦									2	-	-	3		
	十和田市	5	10	5	0	0	9	5	5,000	3	-	-	2		
	三沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	2		
	むつ市														
	むつ市	0	0	0	0	0	0	0		1	-	-	0		
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
むつ市大畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
むつ市脇野沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
つがる市	2	5	2	0	0	3	2	5,000	4	-	-	5			
平川市	1	1	1	0	0	1	1	5,000	4	-	-	4			
市計	64	160	32	20	10	142	65	85,000	18	0	0	33			
東地区	平内町	1	4	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0		
	外ヶ浜町	1	4	1	0	0	4	1	0	0	-	-	4	炊飯器 3器	
	今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	2		
西地区	鱒ヶ沢町	2	5	2	0	0	5	2	0	-	-	-	3		
	深浦町	1	3	0	1	0	3	1	0	2	-	-	2		
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	板柳町	2	3	2	0	0	3	2	0	10	0	0	1		
南地区	藤崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
	大鰐町	1	2	0	1	0	0	0	5,000	2	0	0	2		
	田舎館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
北地区	中泊町	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1		
	鶴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		
上北地区	野辺地町	1	2	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0		
	七戸町	2	5	2	0	0	5	2	0	5	0	0	2		
	六戸町	1	2	0	1	0	2	1	0	2	0	0	2		
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	2		
	東北町	4	10	4	0	0	10	5	0	1	0	0	2		
	六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

区分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
全焼	半焼													
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	
	東通村	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	2	
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	3	-	-	1	
	佐井村	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	1	
三戸地区	三戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
	五戸町	2	3	2	0	0	3	2	0	0	0	0	0	
	田子町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-	1	
	南部町	1	2	1	0	0	2	1	0	5	0	0	6	
	階上町	1	13	0	0	1	13	4	0	3	-	-	2	
	新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	7	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
町村計		20	58	15	4	1	56	23	5,000	54	6	0	52	
合計		84	218	47	24	11	198	88	90,000	72	6	0	85	

令和元年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	6,244	15,197	
	青森市浪岡	-	-	-	H29 廃止
	弘 前 市	H11	1,477	21,636	
		H13	3,825	132,248	
	八 戸 市	H12	4,435	131,963	
		H15	1,793	75,256	
	黒 石 市	H17	6,864	102,321	
	五所川原市				
	五所川原市	H30	5,002	9,060	
	五所川原市金木	H14	2,166	147,761	
	五所川原市市浦	H15	2,549	128,894	
	十 和 田 市	-	-	-	H28 廃止
	三 沢 市	H17	2,434	9,777	
		R元	5,497	5,497	
	む つ 市				
	む つ 市	H18	5,613	151,740	
	むつ市川内	H 6	1,330	157,561	
	むつ市大畑	H 9	725	132,295	
	むつ市脇野沢	H17	6,114	109,347	
つ が る 市	H15	7,923	186,008		
	H16	8,205	134,827		
	H11	2,438	99,660		
平 川 市	-	-	-	H30 廃止	
市 計			74,634	1,751,048	
東地区	平 内 町	H29	8,120	22,965	
	外ヶ浜町	H16	3,131	117,297	
	今 別 町	H28	5,014	20,692	
	蓬 田 村	H15	3,461	160,505	
R元		5,276	5,276		
西地区	鱒ヶ沢町	H15	1,597	132,323	
	深 浦 町	H29	16,121	43,774	
中地区	西目屋村	-	-	-	H25 廃止
	板 柳 町	H15	4,998	97,729	
南地区	藤 崎 町	H13	1,455	90,972	
		R元	4,336	4,336	
	大 鰐 町	H14	6,425	120,427	
	田 舎 館 村	H10	-	-	R元 廃止
H30		4,015	5,544		

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
北地区	中 泊 町	H28	10,205	26,814	
		H12	3,911	214,691	
	鶴 田 町	H30	8,545	14,513	
上北地区	野 辺 地 町	H20	7,008	67,577	
	七 戸 町	H17	7,697	177,410	
	六 戸 町	H19	12,071	190,237	
	横 浜 町	H15	15,934	23,580	
	東 北 町	H9	467	117,213	
		H17	1,919	80,491	
	六ヶ所村	H29	15,462	39,565	
下北地区	大 間 町	H19	5,525	127,036	
	東 通 村	H21	8,687	134,002	
	風 間 浦 村	H14	2,858	155,709	
	佐 井 村	R元	7,574	7,574	
三戸地区	三 戸 町	H16	6,700	163,385	
	五 戸 町	H21	7,725	135,332	
	田 子 町	H28	6,448	21,760	
	南 部 町	H28	8,015	31,362	
		H16	8,979	170,392	
	階 上 町	H20	13,514	94,801	
	新 郷 村	H16	9,230	195,406	
	おいらせ町	H17	11,117	220,074	
H18		5,881	123,000		
町 村 計			249,421	3,353,764	
合 計			324,055	5,104,812	

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	合 計
車両		3	2	5
医療セット		1	3	4
テント		12	2	14
エアテント		1	1	2
担架		25	-	25
折畳寝台		30	-	30
発電機		4	-	4
投光器		8	-	8
浄水機		1	-	1
船舶		0	-	0
衛星電話		2	4	6
災害時優先 電話 (回線数)	固定電話	2	-	2
	携帯電話	4	-	4

2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和元年度の学年別養成者は次のとおりである

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1 年	2 名
	2 年	2 名
	3 年	2 名
	4 年	2 名
計	8 名	

3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

(1) 講習会実施状況

① 救急法

日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や胸骨圧迫の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	18	409	406	0
救急員養成講習	9	212	0	207
短期講習	83	3,125	0	0
指導員養成講習	1	9	0	9
計	111	3,755	406	216

② 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	2	11	0	10
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	31	2,174	0	0
計	33	2,185	0	10

③ 幼児安全法

こどもを大切に育てるため、乳児期に起こりやすい事故とその予防、手当の方法、かかりやすい病気と看病の仕方などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	0	0	0	0
短期講習 (総数)	3	41	0	0
計	3	41	0	0

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。

区 分	赤十字職員		ボランティア (人)	合 計 (人)
	支部 (人)	病院 (人)		
救 急 法	7	13	58	78
水 上 安 全 法	0	1	33	34
雪 上 安 全 法	0	0	0	0
健康生活支援講習	0	5	0	5
幼 児 安 全 法	2	3	6	11

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で行われる「救急法コンクール」では、県内青少年赤十字メンバーによる救急法を用いた実技競技会が毎年開催されており、当支部では、このコンクール出場にむけた講習の実施、出場チームへの指導、さらに、コンクール当日の審査などの支援協力を行っている。

競技では、各チームが日頃の練習の成果を出し、AEDを使った一次救命処置、固定法、包帯法の総合点を競い合った。

第40回青森県高等学校総合文化祭 赤十字部門「救急法コンクール」

1. 月 日 10月26日 (土)
2. 会 場 木造高等学校
3. 出場チーム 青森明の星高等学校、五所川原第一高等学校A、五所川原第一高等学校B、弘前高等学校、弘前東高等学校、弘前工業高等学校、田名部高等学校、八戸東高等学校、千葉学園高等学校、八戸西高等学校

4. 赤十字奉仕団

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念である「人道」の実現を第一の使命として、戦後まもなく全国各地に結成され、身近な地域社会においてボランティア活動を実践することを目的とし、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

ボランティア活動を取り巻く環境は社会貢献活動への関心が高まると共に、ニーズも増大するなど、大きく変化している。活動を通して人と人を繋ぐ重要な役割も担っており、永年にわたり地域の活動に携わってきた赤十字奉仕団へ寄せられる期待は大きい。

また、地震や大雨、台風等による自然災害の多発が懸念される中、地域コミュニティにおける日頃からの備えや助け合い、さらには防災・減災に対する取り組みへの意識の向上を図ることも重要である。そのためには、日頃の活動においても地域コミュニティとの繋がり強化を図り、災害時のスムーズな連携に繋げていけるよう努めていく必要がある。

これまでの経験と知識を活かし、「信頼される赤十字奉仕団」そして「期待される赤十字奉仕団」を目指して、奉仕団活動の活性化と災害時における機能強化を図るなど、赤十字奉仕団の育成・確保に努める。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 赤十字奉仕団体制の整備と強化に努める。
2. 災害時の活動への備えの強化に努める。
3. 地域との連携と協働、他ボランティア団体や奉仕団相互、青少年（こども）赤十字等との交流に努める。
4. 広報活動の充実に努める。
5. 赤十字奉仕団員の意識を高めるための研修の充実に努める。
6. 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収への協力に努める。

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和2年3月31日現在）

① 令和元年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	47	223	1,307	7,222	8,529
青年奉仕団	3	0	44	104	148
特殊奉仕団	10	25	392	340	732
合 計	60	248	1,743	7,666	9,409

② 令和元年度における本団等の結成及び解団の状況

「結成」

奉仕団名	分団名	結成年月日
田子町赤十字奉仕団	民生委員・児童委員協議会分団	令和元年5月14日付

「解団」

奉仕団名	分団名	解団年月日
十和田市赤十字奉仕団	相坂分団	令和2年3月31日付
むつ市大畑分区赤十字奉仕団	湯坂下分団	令和2年3月31日付
おいらせ町赤十字奉仕団	第2分団	令和2年3月31日付

③ 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和元年度	60	248	1,743	7,666	9,409	
平成26年度	61	286	2,324	9,205	11,529	過去3回の一斉登録の年
平成22年度	62	307	2,717	11,729	14,446	
平成18年度	73	353	3,201	13,888	17,089	
昭和53年度	83	353	-	-	28,031	地域奉仕団全市町村結成の年

(5) 赤十字奉仕団組織現況

① 地域奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青 森 市	S33.9.9	内 海 貞 子	5	7	9	146	155	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S34.9.30	小 倉 保 英	0	0	17	126	143	民生委員 保健協力員
	弘 前 市	H20.4.1	齋 藤 次 郎	16	72	201	967	1,168	婦人有志 町会有志
	黒 石 市	S33.5.20	須 藤 孝 子	4	0	0	191	191	連合婦人会
	五所川原市	S33.9.15	小 野 慶 子	7	4	0	423	423	連合婦人会 市民有志
	金 木 町	S50.3.27	外 崎 れい子	5	0	0	152	152	連合婦人会
	市 浦	S51.4.30	木津谷 清 蔵	5	0	2	132	134	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H17.1.1	澤 内 正 志	10	12	149	205	354	婦人・町内有志
	三 沢 市	S50.7.12	沼 田 弘 子	3	12	3	83	86	婦人有志・市民有志
	む つ 市	S49.3.30	海老名 進	6	0	25	118	143	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S50.2.1	石 倉 司	0	8	2	219	221	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S50.6.28	山 崎 輝美子	8	0	0	102	102	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S50.3.24	濱 田 栄 子	7	0	2	118	120	連合婦人会他
	つがる市	H18.4.1	藤 元 弘 志	5	15	97	440	537	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S52.1.27	小笠原 勝 則	5	0	26	103	129	ボランティアグループ
	平川市尾上	S33.9.19	齋 藤 弘 子	6	0	0	65	65	連合婦人会
	計 16団			92	130	533	3,590	4,123	
東地区	平 内 町	S48.10.9	向 井 麗 子	3	0	0	116	116	婦人会
	外ヶ浜町	H17.4.1	高 森 キクエ	3	16	33	329	362	婦人会 町内有志
	今 別 町	S33.9.5	阿 部 和 江	7	0	0	60	60	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬 田 村	S38.9.23	小 野 富美子	3	0	0	45	45	連合婦人会 婦人有志
		計 4団			16	16	33	550	583
西地区	鱒ヶ沢町	S53.8.11	澤 田 賢 治	6	0	38	199	237	民生委員 町内有志 婦人会
	深 浦 町	H18.4.1	堀 内 カ ッ	12	0	10	180	190	民生委員 連合婦人会
		計 2団			18	0	48	379	427
中南地区	西目屋村	S53.6.28	三 上 文 子	3	0	0	44	44	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板 柳 町	S51.11.30	米 澤 ノブ子	0	0	0	21	21	婦人・町内有志
	藤 崎 町	H18.4.1	高 木 アツ子	2	0	0	147	147	婦人会
	大 鰐 町	S36.10.13	工 藤 幸 子	3	0	0	51	51	婦人有志
	田 舎 館 村	S51.8.9	工 藤 泰 子	0	0	8	75	83	民生委員 保健協力員
		計 5団			8	0	8	338	346
北地区	鶴 田 町	S49.4.1	宮 本 弘 子	2	0	0	28	28	婦人会
	中泊町分区中里	S53.9.1	川 島 久 幸	4	0	13	199	212	民生委員、婦人会
	中泊町分区小泊	S36.10.13	秋 元 英 子	3	0	5	136	141	婦人会 村内有志
		計 3団			9	0	18	363	381

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野辺地町	S33.9.1	太田 富江	4	0	0	76	76	連合婦人会
	七戸町	H21.4.1	盛田 恵津子	2	0	0	66	66	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	六戸町	S50.12.1	佐藤 喜久男	0	0	2	24	26	婦人会有志
	横浜町	S50.2.14	竹田 礼子	4	0	8	57	65	民生委員 ボランティアグループ
	東北町	H17.12.15	原 子 スワ子	0	0	0	40	40	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51.12.24	三戸 秀子	0	0	5	115	120	子供会世話人 青年・婦人会有志
	計 6団				10	0	15	378	393
下北地区	大間町	S52.2.10	千葉 良司	2	0	4	73	77	婦人会
	東通村	S51.7.5	伊藤 貢子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S53.1.28	原 子 恒子	4	0	0	93	93	連合婦人会
	佐井村	S36.10.13	内藤 要	15	0	163	214	377	婦人会有志 他
	計 4団				27	0	167	460	627
三戸地区	三戸町	S49.9.7	藤村 立夫	2	0	17	61	78	民生委員 婦人会
	五戸町	H16.7.1	三浦 伸子	9	0	1	169	170	連合婦人会
	田子町	S50.7.21	川村 武司	4	56	329	247	576	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南部町	H18.4.1	新井山 美智子	11	7	108	378	486	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階上町	S36.10.13	山内 良子	3	13	1	48	49	有志
	新郷村	S50.2.27	佐藤 久美子	4	0	0	49	49	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18.4.1	吉田 長一	10	0	29	212	241	民生委員 老人クラブ 母親クラブ 有志
	計 7団				43	76	485	1,164	1,649
合計 47団				223	222	1,307	7,222	8,529	

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいているため、板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計	備考
青年奉仕団	平賀	S41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0	休団
	佐井村	S56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	22	13	35	
	木浪学園赤十字ボランティア	H25. 6. 25	千 葉 千 波	0	0	22	91	113	
	計 3団			0	0	44	104	148	
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイズ編集	S44. 1. 19	辻 村 澄 子	7	3	20	177	197	
	水上安全法	S37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	17	17	34	
	救急法	S44. 11. 12	小 寺 芳 人	5	0	49	36	85	
	アマチュア無線	S47. 5. 21	佐 藤 眸	7	0	93	2	95	
	碓ヶ関家庭看護法	S52. 4. 8	大 川 富 子	0	0	3	22	25	
	黒石市家庭看護法	S57. 3. 1	高 橋 チ ヨ	0	0	0	18	18	
	青森県献血推進	S58. 12. 22	平 岡 カ ッ	0	0	0	10	10	
	岩木山パトロール隊	S59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	4	52	
	支部家庭看護法	S61. 11. 18	山 本 初 枝	0	0	0	17	17	
	青森県青少年賛助	H14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	162	37	199	
	計 10団			25	3	392	340	732	



子ども達に炊き出しを教える奉仕団員

令和元年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

	月 日	行 事 名	開 催 場 所
4	9日	赤十字奉仕団指導講師会議	支部
	20～21日	青年赤十字奉仕団全国協議会	日赤本社（東京都）
	24日	赤十字奉仕団青森県支部委員会（県下委員長会議）	県民福祉プラザ（青森市）
5	8～9日	支部赤十字奉仕団担当者研修会	日赤本社（東京都）
	22日	全国赤十字大会	明治神宮会館（東京都）
	24日	郡市地区・町村分区事務担当者研修会	支部
	30日～31日	赤十字奉仕団中央委員会	日赤本社（東京都）
6	1～2日	青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会	日赤岩手県支部
	25日	赤十字奉仕団基礎研修会	県民福祉プラザ（青森市）
7	8日	上十三地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	富士屋グランドホール（十和田市）
	9日	東津軽地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	支部
	19日	三戸地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	きざん八戸（八戸市）
	26日	むつ下北地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	むつ合同庁舎旧館（むつ市）
	31日	西北地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	ホテルサンルート五所川原（五所川原市）
8	8日	中南地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	ホテルニューキャッスル（弘前市）
	24～26日	赤十字ボランティア・リーダー研修会	国立オリンピック記念センター（東京都）
10	2日	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	しあわせプラザ（青森市）
	9日	西北地区赤十字奉仕団活動研究会	国際交流会館（鶴田町）
	18日	三戸地区赤十字奉仕団活動研究会	楽楽ホール（南部町）
	29日	東青地区赤十字奉仕団活動研究会	しあわせプラザ（青森市）
11	7日	上十三地区赤十字奉仕団活動研究会	総合社会福祉センター（三沢市）
	22日	郡市地区・町村分区関係者会議	しあわせプラザ（青森市）
12	1～25日	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉
2	1～28日	赤十字会員（社員）増強・活動資金増強運動月間	県内各地区分区
	4～6日	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	日赤本社
	14日	赤十字奉仕団強化推進会議	支部
—	中 止	赤十字奉仕団第1ブロック委員長・担当者会議	日赤宮城県支部

赤十字奉仕団活動研究会開催状況一覧

地区名	開催月日	開催地	参加団数/ 参加者数	講話タイトル/担当指導講師	学習交流会テーマ
東青	10月29日	青森市	6団/85名	『奉仕団活動の活性化を目指して』 むつ下北地区担当：田嶋 節夫	①地域老人福祉活動や児童の健全育成活動を進めるにはどのようにしたらよいか ②地域と一緒に取り組んでいきたい防災や減災のための奉仕団活動を進めるにはどうしたらよいか ③活動資金募集を進めるにはどうしたらよいか
西北五	10月9日	鶴田町	9団/149名	『大災害が起こったら』 中弘南黒地区担当：山本 仁志	よりよい地域づくりをめざす 赤十字奉仕団活動
中弘南黒	隔年開催のため 令和元年度は 開催無し				
上十三	11月7日	三沢市	8団/118名	『日本赤十字社と皇室との関わり』 三八地区担当：佐藤 光則	よりよい地域づくりをめざす 赤十字奉仕団活動
むつ下北	隔年開催のため 令和元年度は 開催無し				
三八	10月18日	南部町	7団/121名	『災害に備える』 上十三地区担当：小比類巻 武年	①災害時に対する備えは、どうあればよいか ②他団体との連携と協働は、どうあればよいか ③地域のニーズに対応した活動は、どうあればよいか

共通テーマ 「共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動」 ―地域と連携し防災・減災を普及しよう―

※地区名は行政区域の名称を使用している。

5. 青少年赤十字

青少年・こども赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字活動に参加するとともに、世界の平和と人類の福祉に貢献できる人材育成を目標として、国際赤十字・赤新月社連盟が推進している重要な事業である。従って、当支部としても青少年・こども赤十字への加盟促進と活動の充実を図り、指導者と協力しながらジュネーブ条約に基づく赤十字精神を青少年に普及し人間形成を目指している。

青森県支部では幼稚園・保育園児への防災教育を喫緊の課題ととらえて、歌を通して子どもたちにいのちの大切さ、思いやりの心、防災意識の向上を目的に制作したぼうさいイメージソング「愛をつないで」(CD)を加盟園・加盟校や関係行事等で活用し、普及促進を図った。

加盟登録状況については、今年度支部が定めた加盟促進・普及計画に基づき実施したが、少子化に伴う学校再編等の影響もあり、脱退・統廃合校数が新規加盟校数を上回る結果となった。

支部主催による青少年赤十字メンバーを対象とした各種研修事業及び指導者養成講習会については、計画どおり実施し、一定の成果が得られた。

各地区指導者協議会及び部会主催による研修事業については、幼児部会から高校部会まで幅広く多くのメンバー且つ指導者が参加した。また、作品展や交流会などは参加者も増加傾向にあり、地域住民に対する赤十字思想の普及啓発に繋がっている。その他、青少年赤十字活動については、各地区指導者協議会、施設校で積極的に実施された。



青森県青少年赤十字高校リーダーシップトレーニング



モンゴルYouth campに参加した
本県JRCメンバー大儀凜果さん(写真右)



モンゴルYouth camp 全参加者集合写真

(1) 令和元年度青少年赤十字加盟登録状況

① 令和元年度青森県支部青少年赤十字登録人員登録票

加盟学校（園・所）数						
区 分	①30年度末 加盟校数	②令和元年度中 脱退校数	③統廃合に よる減少	④継続校数 ④=①-②-③	⑤令和元年度末 新規登録校数	⑥令和元年度末 加盟校数 ⑥=④+⑤
幼稚園	29	0	0	29	0	29
保育所(園)	185	5	0	180	1	181
小学校	115	0	2	113	1	114
中学校	61	5	2	54	1	55
高等学校	57	2	0	55	1	56
特別支援学校 (盲・聾・ 養護学校等)	4	0	0	4	0	4
計	451	12	4	435	4	439

区 分	今回(令和元年度)の登録数			
	加盟学校学級数	クラブ/委員会数	加盟児童・生徒数	
幼稚園	114	0	男	955
			女	913
			小計	1,868
保育所 (園)	749	0	男	5,322
			女	5,044
			小計	10,366
小学校	916	1	男	8,676
			女	8,303
			小計	16,979
中学校	387	1	男	4,346
			女	5,018
			小計	9,364
高等学校 (高専)	0	56	男	425
			女	845
			小計	1,270
特別支援学校 (盲・聾・ 養護学校等)	18	0	男	40
			女	25
			小計	65
計	2,184	58	男	19,764
			女	20,148
			合計	39,912
			指導者数	5,133

② 校種別加盟登録状況の内訳

校 種	項目	合計	内 訳 (学校・施設名)
幼 稚 園	継続加盟	29	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	0	
保 育 所 (園)	継続加盟	180	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	第二さえずりの森 (八戸市)
	統廃合	0	
	脱退・休止	5	きらら (深浦町) / ふじ (藤崎町) / 湊高台 (八戸市) / あじゃら東 (大鰐町) / 千曳 (東北町)
小 学 校	継続加盟	113	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	いずみ (五所川原市)
	統廃合	2	牛滝 (佐井村) / 佐井 (佐井村)
	脱退・休止	0	
中 学 校	継続加盟	54	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	大戸瀬 (深浦町)
	統廃合	2	平館 (外ヶ浜町) / 福浦 (佐井)
	脱退・休止	5	西平内 (平内町) / 平賀東 (平川市) / 田舎館 (田舎館) / 切田 (十和田) / 新郷 (新郷村)
高 等 学 校	継続加盟	55	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	弘前東 (弘前市)
	統廃合	0	
	脱退・休止	2	野辺地西 (野辺地町) / 八戸中央 (八戸市)
特別支援学校 (盲・聾・養護学校)	継続加盟	4	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	0	



青森県青少年赤十字リーダー研修会



中弘南黒地区青少年赤十字の集い

③ 令和元年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業	
	2 青中短2	2 幸畑	2 西田沢	2 浦町	2 東興学園	2 青森聾				2 三好	2 市浦	2 金木	
	3 青中短3	3 千富	3 高田	3 佃	3 青森中央					3 三輪		3 五所川原	
	4 油川	4 佃	4 荒川	4 荒川	4 青森北					4 東峰		4 五所川原第一	
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡北	5 東	5 明の星					5 栄			
	6 あすなろ	6 あおもりみなみこども園	6 浪岡南	6 西	6 青森東					6 金木			
		7 中央文化	7 後潟	7 戸山	7 青森					7 松島			
		8 若芽	8 本郷	8 浪岡	8 青森南					8 いずみ			
		9 戸山		9 筒井	9 青森工業								
		10 青森東こども園			10 青森山田			つがる市		1 いなほ	1 育成	1 森田	1 木造
		11 あかしや			11 浪岡					2 菰植	2 柏	2 車力	
		12 浪岡若葉こども園			12 北斗					3 しげた	3 穂波		
		13 しらゆり			13 青森商業					4 もりた			
		14 こども園 瑞穂								5 かしわこども園			
		15 合浦保								6 かしわあつふるこども園			
		16 中央保						鱒ヶ沢町			1 西海	1 鱒ヶ沢	1 鱒ヶ沢
		17 浦町									2 舞戸		
		18 青森甲田こども園											
		19 青森山田こども園											
		20 青森こども園						深浦町		1 みはる	1 いわさき	1 大戸瀬	1 深浦校舎
									2 みよし	2 修道			
									3 えの木				
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北			
		2 小湊	2 小湊										
		3 口広	3 東										
		4 山彦											
		5 青空											
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩			中泊町	1 中里こども園		1 小泊		1 中里	
今別町		1 今別こども園					鶴田町		1 水元	1 梅沢		1 鶴田	
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田	1 蓬田						2 鶴田			
										3 富士見			
校種別計	8	27	12	11	13	2	校種別計	2	11	20	6	9	0
地区合計	73						地区合計	48					

中弘南黒地区							上十三地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
弘前市		1 大東	1 石川 26 城西	1 石川	1 弘前中央		十和田市	1 さつき	1 ほなみ	1 藤坂		1 三本木	
		2 高杉	2 東目屋 27 青柳	2 津軽	2 東奥義塾				2 十和田めぐみ	2 松陽		2 十和田西	
		3 みどり	3 第三大成 28 岩木	3 新和	3 弘前実業				3 きく	3 下切田		3 十和田工業	
		4 ようせい	4 三省 29 自得	4 船沢	4 弘前工業				4 緑と太陽	4 高清水		4 三本木農業	
		5 やまぶき	5 ぶらなひ7大開	5 第一	5 柴田女子				5 みきの				
		6 めぐみ	6 東	6 第二	6 弘前南								
		7 青女子	7 文京	7 第三	7 弘前		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目		1 三沢商業	
		8 大開	8 城東	8 第四	8 弘前東				2 チャリティー第2				
		9 ふじこども園	9 致遠	9 第五			野辺地町					1 野辺地	
		10 弘前すみれ	10 新和	10 裾野									
		11 こどもの城	11 小沢	11 相馬			七戸町		1 榎林こども園	1 城南		1 七戸	
		12 ひまわり	12 大和沢	12 東目屋					2 道ノ上こども園				
		13 致遠	13 豊田	13 北辰			おいらせ町		1 錦ヶ丘				
		14 若草	14 大成	14 南					2 あゆみ				
		15 城東	15 時敏						3 川口				
		16 ふたば	16 朝陽						4 下田こども園				
		17 堀越こども園	17 北						5 本村こども園				
		18 サンこども園	18 福村						6 深沢				
		19 石川こども園	19 子供の館				六戸町		1 ひのでこども	1 大曲	1 七百	1 六戸	
		20 こどもの櫓	20 こどもの城						2 第二日の出	2 開知			
		21 木の実こども園	21 桔梗野				東北町						
		22 鳥井野	22 高杉						1 中央ボブラ				
		23 大浦	23 三和						2 水喰				
			24 西						3 ボブラ				
			25 船沢						4 乙供文化				
西日屋村			1 西日屋										
黒石市		1 中郷こども園		1 中郷	1 黒石	1 黒石養護	六ヶ所村						
		2 アリス							1 泊第二	1 千歳平		1 六ヶ所	
		3 美郷こども園							2 千歳平こども園				
		4 たけみ											
平川市		1 日の出こども園	1 碓ヶ関	1 平賀西	1 尾上総合								
		2 あらや		2 碓ヶ関									
		3 大坊こども園											
		4 はすね											
		5 碓ヶ関中央こども園											
		6 高城こども園											
		7 平賀あすなろ											
		8 平川中央こども園											
藤崎町			1 常盤	1 藤崎									
			2 藤崎	2 明德									
			3 藤崎中央										
大鰐町	1 おおわに文化												
田舎館村		1 田舎館こども園	1 田舎館										
校種別計	1	36	35	19	10	1	校種別計	2	23	9	1	9	0
地区合計			102				地区合計			44			

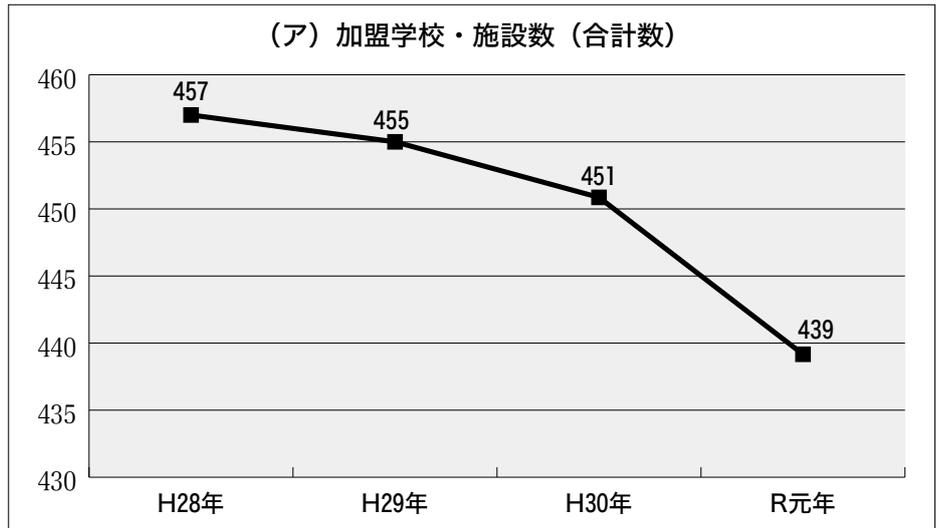
むつ下北地区							三八地区								
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援		
むつ市	1 あたご	1 エピナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 はくみ認定こども園	51 千草	1 多賀	1 千葉学園	1 田小ひまわり	
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こごくら	27 湊	52 こぼと	2 鮫		2 八戸東	
	3 星美	3 正津川児	3 関根		3 川内校舎			3 桔梗野	3 浜市川	28 藤覚	53 さえずりの森	3 吹上		3 八戸西	
		4 柳町ひまわり	4 第三田名部		4 大湊			4 高館	4 轟木	29 白銀台	54 江陽こども園	4 江南		4 八戸商業	
		5 小間第二百合	5 奥内					5 長者	5 さめ	30 南売市	55 旭ヶ丘	5 新井田		5 八戸	
		6 よしの	6 大畑					6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 おおくきこども園	56 新井田	6 種差		6 八戸工業	
		7 大平						7 八戸学院	7 すみれ	32 ひまわり	57 小久保	7 島守		7 八工大一高	
		8 近川						8 第二しのめ	8 テレジア	33 こどもの城	58 日計			8 八工大二高	
		9 並木						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 白山台	59 第二さえずりの森			9 向陵	
		10 白百合							10 岬台	35 うぐいす				10 八戸学院光星	
		11 ゆきのこ							11 多賀台	36 太陽と海の子					
		12 海の子							12 大杉平	37 下長こども園					
		13 あすなろ							13 中居林こども園	38 小中野					
		14 苦生ひまわり							14 虹の丘	39 しみず					
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 奥戸			15 三条	40 白?							
		2 大間	2 大間	2 大間			16 みどりのかげエデュカレ	41 類家							
東通村			1 東通	1 東通			17 関南	42 河原木中央							
風間浦村		1 風間浦					18 エンゼル子どもの家	43 桐の葉							
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井			19 尻内	44 明星こども園							
				2 牛滝			20 根城こども園	45 サンフラワー							
							21 木の実園	46 福聚							
							22 三島	47 むつみ							
							23 すぎのこ	48 ほうりん							
							24 根岸	49 貴福							
							25 みどりのかげウイング	50 是川							
							三戸町	1 ミューズ		1 杉沢	1 三戸	1 三戸			
										2 杉沢					
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ	1 五戸	1 五戸				
										2 上市川	2 倉石				
										3 切谷内					
							田子町	1 田子		1 田子	1 田子				
										2 上郷					
										3 清水頭					
							南部町	1 あかね	1 チェリー	1 南部	1 南部				
									2 福地		2 剣吉	2 福地			
											3 福田	3 杉沢			
											4 向	4 名川			
											5 名久井				
											6 名川南				
											7 福地				
											8 杉沢				
							階上町	1 石鉢		1 石鉢	1 道仏				
									2 階上		2 階上	2 階上			
									3 道仏		3 赤保内				
											4 道仏				
											5 大蛇				
											6 小舟渡				
							新郷村				1 野沢				
校種別計	4	18	10	6	4	0	校種別計	12	66	28	12	11	1		
地区合計	42						地区合計	130							

県計	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和元年度末計	29	181	114	55	56	4
総計	439					

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

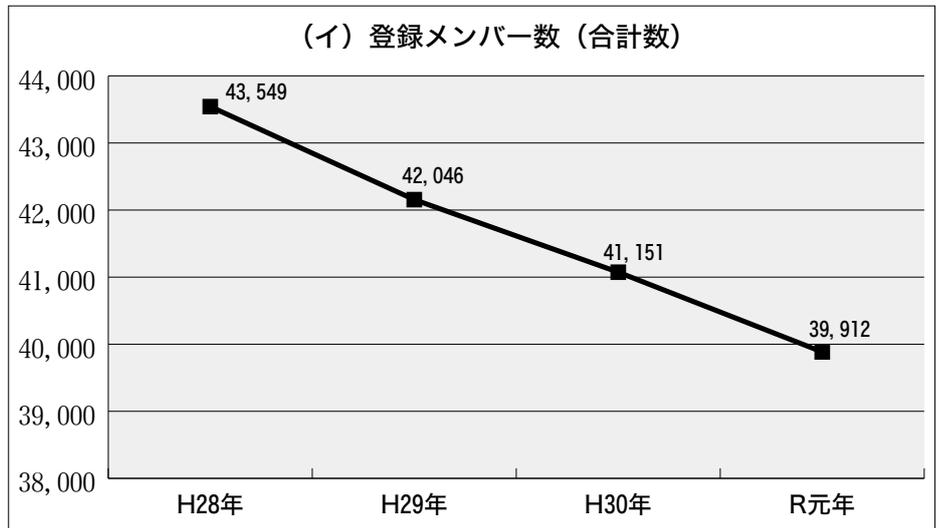
(ア) 加盟校・施設数合計

年度	学校・施設数
H28年	457
H29年	455
H30年	451
R元年	439



(イ) メンバー数合計

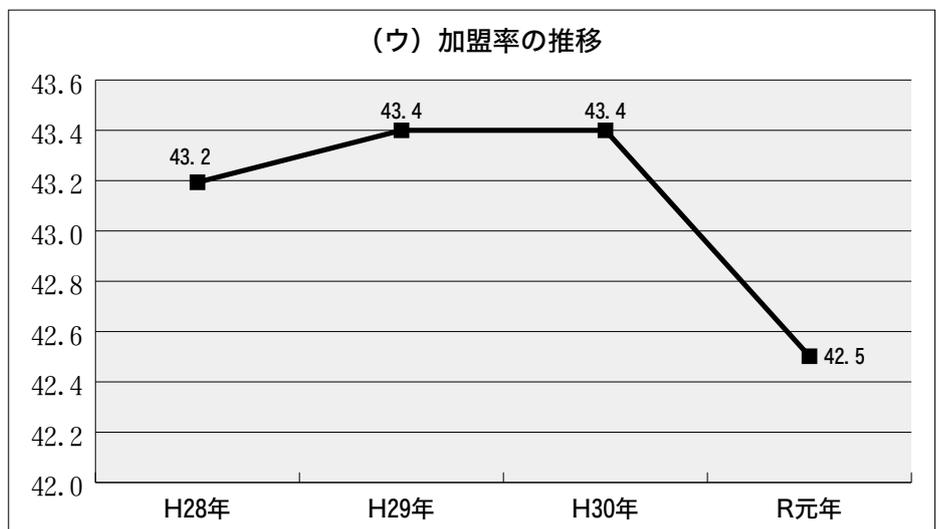
年度	登録メンバー数
H28年	43,549
H29年	42,046
H30年	41,151
R元年	39,912



(ウ) 加盟率の推移

(小中高特別支援/幼保除く)

年度	学校・施設数
H28年	43.2
H29年	43.4
H30年	43.4
R元年	42.5



(2) 青少年赤十字関連研修会・会議開催状況

① 本社主催研修会

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
トレセン指導者養成講習会	5月24日～26日	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)	石塚 智美 (東奥学園高等学校教諭)
スタディーツアー (高校生メンバー対象)	7月17日～24日	バヌアツ共和国	県内参加者無し
青少年赤十字指導者 中央講習会	11月23日～24日	日本赤十字社本社	三上 由美子 (青森県立弘前高等学校教諭)
指導主事対象研究会	令和2年1月8日 ～9日	日本赤十字社本社	長利 真至 (青森県教育庁学校教育課指導主事)
スタディー・センター (高校生メンバー対象) ※1	令和2年3月20日 ～24日	東照館 (山梨県)	渡部 萌々 (青森県立田名部高等学校1年) 鈴木 志保 (青森県立八戸東高等学校1年) 白取 静子※2 (青森山田高等学校教諭) ※2 本社要請指導スタッフ

※1 「スタディー・センター (高校生メンバー対象)」については、新型コロナウイルスの影響により中止

② ブロック (担当支部) 主催研修会

名 称	開 催 月 日	担当支部	参 加 者
第1B指導者研究会	9月10日～11日	福島第一小学校	高坂 隆幸 (青森市立本郷小学校教頭)

③ 支部主催研修会

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
高校トレーニングセンター/ 指導者養成講習会	8月2日～4日	公立小川原湖青年の家 (東北町)	メンバー28名/指導者1名
高校リーダー研修会/ 指導者養成講習会	令和2年1月6日 ～8日	県立梵珠少年自然の家 (五所川原市)	メンバー17名/指導者2名

④ 会議など

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
指導講師会議	4月19日	日赤県支部	指導講師8名
県賛助奉仕団総会	6月14日	ラ・プラス青い森	賛助奉仕団員
全国指導者協議会総会	6月24日～25日	日本赤十字社本社	県青少年赤十字指導者協議会会長 三浦 博英 (外ヶ浜町立蟹田中学教諭)
全国賛助奉仕団協議会総会	7月9日～10日	日本赤十字社本社	県賛助奉仕団委員長 佐藤 光則

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
県指導者協議会理事会・指導主事等対象研修会	7月12日	県総合社会教育センター	指導者33名
高総文青少年赤十字部門発表会	10月26日	県立青森木造高等学校	県内高校生メンバー・指導者 他

⑤ その他行事

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
モンゴル赤十字, IFRC 主催 Youth camp	7月22日～27日	モンゴル国	大儀 凜果 (青森県立弘前高等学校2年)

(3) 令和元年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	竹 田 裕	五所川原市立いずみ小学校
副会長(幼・保)	蛭 名 将 輝	青森甲田こども園
副 会 長 (小)	俵 藤 晶	十和田市立藤坂小学校
副 会 長 (中)	天 坂 文 隆	弘前市立第四中学校
副 会 長 (高)	四 木 博 之	県立八戸中央高等学校

(4) 令和元年度青少年赤十字指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	長 尾 孝 紀	近 藤 徹
中弘南黒地区	田 中 均	
上 十 三 地 区	丸 井 英 子	川 崎 守
むつ下北地区	飯 田 知 克	沢 田 要 一
三 八 地 区	中 村 正	
高 等 学 校	瀧 本 ひろみ	

(5) 令和元年度青森県青少年赤十字賛助奉仕団役員名簿

役 員 名	氏 名
委 員 長	佐 藤 光 則
副 委 員 長	小 澤 俊 文
”	桜 田 与 市
事 務 局	工 藤 耕 弘
”	中 村 正
”	鶴 賀 一 昭

令和元年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

役員	事項/地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八	
	所 属	氏 名	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
会長・竹田 裕 副会長・蛭名 将輝 依藤 晶 天坂 文隆 四木 博之	理事	会 長	大船 恵也	本郷小	竹田 裕	いずみ小	天坂 文隆	第四中	依藤 晶	藤坂小	山本 明美	奥内小	坂本 晴美	剣吉小
		副 会 長	蛭名 将輝 田中 聡 齋藤 美鈴 高橋福太郎	青森甲田こども園 小湊小 青森北中 東奥学園高	倉内 泰雄 三橋 一晃 隅田 佳文	いなほ保 東峰小 鶴田高	工藤 淳 佐藤 忠浩 今 智人 鈴木 雅博	めぐみ保 岩木小 明徳中 弘前高	山内 豪士 原田 克人 見友 健二 三國 慎治	きく保 松陽小 七百中 十和田工業高	小野 弘子 二本柳 卓 祐川 達也 今井 啓之	並木保 佐井小 奥戸中 田名部高	田頭 正嗣 峯 香代子 藤田 裕司 葛川 誠 一戸 利則	高館幼 吹上小 道仏小 倉石中 八戸高
	専門委員	幼児部会	小泉 隆人 蝦名 崇子 蛭名 将之 石村 康弘	幸畑保 山彦幼 あおりみなみこども園 しらゆり保			木立 睦子 成田 宣子 下山 京子 古川 香	アリス保 大関保 高杉保 大坊こども園	長嶺 寿子 古田 秀子 熊野 博文 蛭澤 正雄	ひのでこども園 いちい幼 川口保 中央ポブラ保	小野 弘子 中野 正子 品木扶美子 斉藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	小澤 一雅 田端 良子 栂沢さやか 江渡 恵一 笹垣 昇	すみれ保 長者幼 中居林こども園 めぐみ保 いちのさわ保
		小学校部会	千葉 勝 小松 達弘 武井 秀雄	後潟小 山口小 浪岡南	工藤 武秀 松山 伸 外崎 淳郎 小山内祥子	三輪小 金木小 東峰小 五所川原小	西川 正之 藤森 佳代 鷲尾 厚 柏田 顕	高杉小 田舎館小 青柳小 岩木小	畑山ゆかり 小泉 仁一 三上菜穂子	松陽小 三川目小 開知小	二本柳 卓 田中 萌菜 小野 智美 高松留美子	佐井小 佐井小 大間小 東通小	野呂 隆子 三上 育子 三橋 秀平 花田 恵	吹上小 江南小 五戸小 福田小
		中学校部会	横山 誠之 横山 公一 笹 弘道	筒井中 三厩中 浪岡中	豊沢 晶子 古川 知足	森田中 鯨ヶ沢中	石岡 卓彦 西谷 英規 角田奈央子 葛西 貴子	第四中 南中 第五中	見友 健二	七百中	祐川 達也 渡邊 一哉 米沢 真輝 小野 桃子	奥戸中 奥戸中 佐井中 東通中	中村 明崇 工藤 素子 梅津 瑠二	福地中 名川中 田子中
		高校部会	平山しのぶ 川崎 陽子 張間 亮 安江 道子	青森西高 青森南高 北斗高 青森東高	石川 雄基 小山内幹子 鈴木 則子 外崎 恵子	五所川原商業高 五所川原第一高 木造高 鯨ヶ沢高	中村 友是 三上由美子 佐藤 有代	柴田学園高 弘前高 弘前南高	久保 晶子 菊池 亘子 水上 美輝 桜田 一美 上條 洋子 秋田文陽子 玉籠香奈子 小田留美子 小森 祐美	三本木高 十和田西高 十和田工業高 十和田工業高 三本木農業高 三沢商業高 七戸高 六戸高 六ヶ所高	今井 啓之 加藤 清美 佐藤 由記 工藤 桃子 酒井 典子	田名部高 田名部高 大湊高 むつ工業高 大湊高川内	大川 尚美 諏訪 節子 長谷川美紗	八戸工業高 八戸西高 八戸東高
	地区指導者	事務局 長	高坂 隆幸	本郷小	阿部 禎子 白取 浩平	いずみ小 いずみ小	戸澤 康之 石岡 卓彦	第四中 第四中	藤坂小 藤坂小 藤坂小	宇野ゆか子 加藤 清美 中野 正子	奥内小 田名部高 並木保	仲山 啓 中村 明崇	剣吉小 福地中	
		所 在	〒038-1323 青森市浪岡大字本郷字一本柳4 青森市立本郷小学校内 TEL0172(62)3052Fax0172(62)3053	〒037-0002 五所川原市大字飯詰字石田184 五所川原市立いずみ小学校内 TEL0173(37)2135Fax0173(39)7501	〒036-8228 弘前市樹木5-2-6 弘前市立第四中学校内 TEL0172(32)5244Fax0172(32)5248	〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内 TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473	〒035-0011 むつ市奥内字中野40 むつ市立奥内小学校内 TEL0175(26)2214Fax0175(26)3575	〒039-0612 南部町剣吉字大館10-1 南部町立剣吉小学校内 TEL0178(75)0009Fax0178(75)1779						
	地区事務局 幼児	部 会 長	蛭名 将輝	青森甲田こども園	倉内 泰雄	いなほ保	工藤 淳	めぐみ保	山内 豪士	きく保	小野 弘子	並木保	田頭 正嗣	高館幼
		事務局 長	藤川 陽子	あおりみなみこども園	成田真紀子	いなほ保	藤田真理子	みどり保	山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりのかぜ北ウィング
地区事務局 高	部 会 長	高橋福太郎	東奥学園高	隅田 佳文	鶴田高	鈴木 雅博	弘前高	三國 慎治	十和田工業高	今井 啓之	田名部高	一戸 利則	八戸高	
	事務局 長	真田 龍一	東奥学園高	瓜田 貴子	鶴田高	三上由美子	弘前高	水上 美輝	十和田工業高	加藤 清美	田名部高	木村 香織	八戸高	
指導講師	所 在	〒030-0855 青森市北金沢2-19-6 あおりみなみこども園内 TEL017(776)6215Fax017(776)6212	〒037-0104 つがる市稲垣町豊川初瀬62-6 いなほ保育園内 TEL0173(46)2679Fax0173(46)2776	〒036-8188 弘前市吉野町3-3 みどり保育園内 TEL0172(32)0510Fax0172(32)7503	〒034-0088 十和田市西十四番町6-3 きく保育園内 TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066	〒035-0046 むつ市南町9-36 並木保育園内 TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322	〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウィング内 TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312							
	所 在	〒030-0821 青森市勝田2-11-1 東奥学園高等学校内 TEL017(775)2121Fax017(775)2137	〒038-3503 鶴田町大字鶴田字小泉369-1 県立鶴田高等学校内 TEL0173(22)3251Fax0173(22)6196	〒036-8558 弘前市新寺町1-1 県立弘前高等学校内 TEL0172(32)0251Fax0172(32)3227	〒034-0001 十和田市三本木下平215-1 県立十和田工業高等学校 TEL0176(23)6178Fax0176(23)6771	〒035-0054 むつ市海老川町6-18 県立田名部高等学校内 TEL0175(22)1184Fax0175(23)7233	〒031-0021 八戸市長者4-4-1 県立八戸高等学校内 TEL0178(44)0916Fax0178(47)9361							
指導講師	所 在	石村 光也 工藤 耕弘	長尾 孝紀 近藤 徹	田中 均 瀧本ひろみ (高校)	丸井 英子 川崎 守	飯田 知克 沢田 要一	中村 正							

6. 国際活動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界192カ国の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手をさしのべると共に国際親善の強化に努めている。国際赤十字・赤新月社連盟は大規模災害発生に備え、ERU（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型ERUを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではERU要員1名を有している。

(1) 国際援助活動

① NHK海外たすけあい（第37回）

窓口区分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支部扱い	支部管内取扱	88	161,495
	NHK各放送局	3	82,881
	地方銀行	32	434,711
合計		123	679,087

② 国際救援金受付状況

災害名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
2019年モザンビークサイクロン救援金	12	39,571
計	12	39,571

(2) 国際協力事業

○救急法普及支援事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、平成16年度より救急法等の講習事業を支援しており、現在、東ティモール赤十字社とラオス赤十字社に対し、救急法指導者の派遣と併せて、両社が推進する救急法普及事業への財政的支援を行っている。

本事業期間中は、毎年、現地の救急法指導者を対象として、概ね1～2週間程度の日程で救急法指導者研修会が実施されることになっており、日本赤十字社からは、この研修会に対し、支部又は、管下施設の職員及びボランティアの救急法指導員を派遣し、指導内容や、事業に対する助言を行っており、財政面のみならず技術面からも“目に見える支援”を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

ネパール赤十字社支援事業として、衛生分野の環境改善が急務の同国において、学校、コミュニティにおける水衛生環境の改善を目的に青少年赤十字メンバーを対象とした手洗いの重要性や簡易手洗い場の作り方の研修など様々な事業を展開している。

また、バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業およびボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

◎国際協力事業に対する令和元年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	7,000,000円
内、当支部負担額	731,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部（以下：米赤三沢支部）と連携し、相互事業への協力を行っている。

(4) 国際活動体験ツアー in Aomoriの実施について

赤十字のグローバルな活動を特に若年層へ広くPRすることで、赤十字事業全体への理解を深めてもらうため、将来国際的な活動を志望する看護学生に、赤十字の国際活動を中心に机上演習により国際救護の実際を知ってもらう機会を提供している。

月 日：10月12日～13日

場 所：青森公立大学

主 催：日本赤十字社青森県支部

内 容：国際緊急支援のシミュレーション

参加者：日本赤十字秋田看護大学 学生	14名	
同上	教職員	3名
研修講師		2名
スタッフ		1名
青森県支部職員	1名	計21名

7. 社会福祉事業

(1) 青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、自立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、自立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児(者)の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児(者)延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	10,347人	（1日平均 28.3人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	10,308人	（1日平均 28.2人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	2,088人	（1日平均 8.7人）
(エ)短期入所	延	251人	（1日平均 0.7人）
(オ)生活介護	延	1,170人	（1日平均 4.9人）
(カ)外来患者数	延	12,057人	（1日平均 50.2人）

③ 医療社会活動

活動内容	日数	县市町村	派遣人員
療育相談 (保健所)	16日	2	16人
在宅重度身体障害者訪問診査 (市町村)	5	5	6
小・中学校脊椎側彎症等運動器 学校検診(八戸市)	26	1	26
合計	47	8	48



お楽しみ会 令和元年9月25日



クリスマス会 令和元年12月18日

8. 医療事業

(1) 八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域住民の生命と健康を守るため、赤十字の理念に基づいた信頼される病院づくりに努め、質の高い医療や救急医療、災害救護に取り組んでいる。

令和元年度は、前年度から引き続き多剤耐性腸球菌のバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）抑え込みに腐心した年となったが、新規の発生がほとんどない状態にまで沈静化しており、確実に終息に向かっている。また、地域において大きな役割を果たしている当院の血液内科が、医師の減員により診療規模縮小となったが、常勤医師1名体制での診療を維持することで地域の血液内科治療は継続できることとなった。

災害救護では、近年、被害が大規模化する災害への対応強化として災害派遣医療チーム（DMAT）などの人材育成や院内設備、業務継続計画の整備など計画的に準備を進めてきた。台風第19号災害では、大きな被害を受けた宮城県丸森町へ、10月15日に災害派遣医療チーム（DMAT）を、次いで19日には救護班を派遣し、現地医療調整本部の運営支援、医療救護やこころのケアなどの活動を行った。

また、世界的流行となっている新型コロナウイルス感染症診療継続計画を策定し、帰国者・接触者外来開設や入院病床の確保など県や保健所等と連携しながら感染拡大防止に努めている。

経営状況については、感染対策や血液内科の診療規模縮小により厳しい一年となったが、救急患者の積極的受け入れや診療報酬加算取得などで収益改善策を図ってきた。先が見えない新型コロナウイルス感染による経営面への影響も懸念されるところであるが、引き続き増収対策と費用抑制策を並行して進め、経営改善に取り組んでいかなければならない。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 一般病棟入院基本料 7：1

精神病床 60床 精神病棟入院基本料 10：1 計 434床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、精神科、神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 116,416人（一日平均 318.1人 前年度比 △5.2人）

イ. 外来患者 159,318人（一日平均 663.8人 前年度比 +2.0人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和元年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職員	その他	計
母 親 学 級	43	1	394	86	0	86
栄 養 相 談	325(回)	1	4,822	981	0	981
各 種 検 診	57	2	3,004	56	0	56
患 者 慰 安	2	1	8	10	0	10
健 康 生 活 支 援 講 習 会	2	2	20	2	0	2
A E D 短 期 講 習 会	5	1	64	3	0	3
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	50	1	968	300	0	300
保 健 指 導	21	1	170	21	0	21



救護班帰着報告の様子



こころのケア活動の様子

9. 血液事業

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め確実な事業を遂行している。

令和元年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血2020」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和元年度の献血受け入れ計画は県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため献血者数45,854人、目標量19,708.0Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、当センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和元年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は47,666人で、前年度に比較すると2,702人の増となり、対前年比では106.0%となった。(30年度の献血者は44,964人)

献血量は20,534.6Lで、前年度に比較すると2,218.7Lの増となり、対前年比では112.1%となった。(30年度の献血量は18,315.9L)

(2) 供給状況

県内医療機関（病院等）への血液製剤供給本数は、200mL換算で188,559単位となり、前年度に比較すると5,760単位の増、対前年比では103.2%となった。(30年度の供給本数は182,799単位)

(3) 令和元年度 月・施設別献血状況

① 令和元年度月別施設別献血状況（4～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青森	2 0 0 mL	38	41	51	164	24	77	195	64	72	38	19	9	792
	4 0 0 mL	1,226	1,398	1,420	1,355	1,366	1,298	1,272	1,336	1,373	1,386	1,275	1,330	16,035
	計	1,264	1,439	1,471	1,519	1,390	1,375	1,467	1,400	1,445	1,424	1,294	1,339	16,827
	確保量(L)	498	567	578	575	551	535	548	547	564	562	514	534	6,572
バス	稼働日数	32	37	37	40	33	36	39	37	39	35	35	36	436
	一台平均	39.5	38.9	39.8	38.0	42.1	38.2	37.6	37.8	37.1	40.7	37.0	37.2	38.6
	2 0 0 mL	16	12	22	77	20	85	93	42	47	8	10	17	449
	4 0 0 mL	728	761	725	674	782	657	748	560	676	833	665	675	8,484
八戸	計	744	773	747	751	802	742	841	602	723	841	675	692	8,933
	確保量(L)	294	307	294	285	317	280	318	232	280	335	268	273	3,483
	稼働日数	15	17	17	17	17	17	17	16	16	17	15	15	196
	一台平均	49.6	45.5	43.9	44.2	47.2	43.6	49.5	37.6	45.2	49.5	45.0	46	45.6
全血バス合計	2 0 0 mL	54	53	73	241	44	162	288	106	119	46	29	26	1,241
	4 0 0 mL	1,954	2,159	2,145	2,029	2,148	1,955	2,020	1,896	2,049	2,219	1,940	2,005	24,519
	計	2,008	2,212	2,218	2,270	2,192	2,117	2,308	2,002	2,168	2,265	1,969	2,031	25,760
	確保量(L)	792.4	874.2	872.6	859.8	868.0	814.4	865.6	779.6	843.4	896.8	781.8	807.2	10,055.8
青森	稼働日数	47	54	54	57	50	53	56	53	55	52	50	51	632
	一台平均	42.7	41.0	41.1	39.8	43.8	39.9	41.2	37.8	39.4	43.6	39.4	39.8	40.8
	2 0 0 mL	20	16	20	33	33	33	27	22	20	18	28	39	309
	4 0 0 mL	250	311	350	314	337	287	423	377	342	333	337	452	4,113
ルム	血漿	292	324	315	287	334	318	332	301	281	283	328	391	3,786
	血小板(分割)	171	179	159	150	148	153	143	156	151	119	149	172	1,850
	血小板(非分割)	62	44	81	78	80	70	99	66	74	104	50	53	861
	計	795	874	925	862	932	861	1,024	922	868	857	892	1,107	10,919
弘前	確保量(L)	392.2	429.3	446.4	412.8	447.0	416.7	485.2	441.2	416.9	409.1	429.2	526.4	5,252.5
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	29	31	364
	一日平均	26.5	28.2	30.8	27.8	30.1	28.7	33.0	30.7	28.9	28.6	30.8	35.7	30.0
	2 0 0 mL	42	27	38	34	42	43	35	44	42	20	36	50	453
ルム	4 0 0 mL	245	293	427	284	372	299	379	330	331	337	310	453	4,060
	血漿	293	321	316	289	316	273	327	279	348	332	343	426	3,863
	血小板(分割)	151	146	126	137	148	114	136	131	116	151	124	141	1,621
	血小板(非分割)	70	56	113	83	75	79	109	111	70	63	87	74	990
計	計	801	843	1,020	827	953	808	986	895	907	903	900	1,144	10,987
	確保量(L)	387.0	408.7	476.9	396.7	450.8	380.3	467.1	421.4	430.2	437.1	430.7	539.4	5,226.3
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	29	31	364
	一日平均	26.7	27.2	34.0	26.7	30.7	26.9	31.8	29.8	30.2	30.1	31.0	36.9	30.2
合計	目標	1,629.3	1,669.1	1,629.4	1,658.7	1,673.8	1,589.9	1,693.5	1,635.2	1,672.1	1,627.7	1,550.6	1,678.7	19,708.0
	2 0 0 mL	116	96	131	308	119	238	350	172	181	84	93	115	2,003
	4 0 0 mL	2,449	2,763	2,922	2,627	2,857	2,541	2,822	2,603	2,722	2,889	2,587	2,910	32,692
	血漿	585	645	631	576	650	591	659	580	629	615	671	817	7,649
	血小板(分割)	322	325	285	287	296	267	279	287	267	270	273	313	3,471
	血小板(非分割)	132	100	194	161	155	149	208	177	144	167	137	127	1,851
	合計	3,604	3,929	4,163	3,959	4,077	3,786	4,318	3,819	3,943	4,025	3,761	4,282	47,666
	確保量(L)	1,571.6	1,712.2	1,795.9	1,669.3	1,765.8	1,611.4	1,817.8	1,642.2	1,690.5	1,743.0	1,641.8	1,873.0	20,534.6
	稼働日数	107	116	114	119	112	113	118	113	115	112	108	113	1,360
	一日平均	33.7	33.9	36.5	33.3	36.4	33.5	36.6	33.8	34.3	35.9	34.8	37.9	35.0
初回献血者数(人)	321	283	337	446	275	362	539	350	283	214	210	277	3,897	
再来献血者数(人)	3,283	3,646	3,826	3,513	3,802	3,424	3,779	3,469	3,660	3,811	3,551	4,005	43,769	
初回献血率(%)	8.9	7.2	8.1	11.3	6.7	9.6	12.5	9.2	7.2	5.3	5.6	6.5	8.2	

② 年齢別献血者数推移調

区 分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 ^才	1,910 ^人	1,797 ^人	3,707 ^人	2,044 ^人	1,952 ^人	3,996 ^人	1,938 ^人	1,893 ^人	3,831 ^人
20 ～ 29	4,145	2,250	6,395	4,100	2,334	6,434	4,028	2,563	6,591
30 ～ 39	5,649	2,490	8,139	5,530	2,298	7,828	5,578	2,452	8,030
40 ～ 49	8,706	3,190	11,896	8,483	3,189	11,672	8,868	3,644	12,512
50 ～ 59	7,467	2,720	10,187	7,975	2,807	10,782	8,778	3,174	11,952
60 ～ 69	2,852	865	3,717	3,245	1,007	4,252	3,524	1,226	4,750
計	30,729	13,312	44,041	31,377	13,587	44,964	32,714	14,952	47,666

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率	前年比	前年増減
16 ～ 19 ^才	5.9%	95.9%	▲ 165 ^人
20 ～ 29	12.3	102.4	157
30 ～ 39	17.1	102.6	202
40 ～ 49	27.1	107.2	840
50 ～ 59	26.8	110.9	1,170
60 ～ 69	10.8	111.7	498
計	100.0	106.0	2,702

④ 職業別献血者推移調

区 分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	7,380 ^人	1,209 ^人	8,589 ^人	7,629 ^人	1,334 ^人	8,963 ^人	8,032 ^人	1,570 ^人	9,602 ^人
会 社 員	15,805	4,809	20,614	16,212	4,818	21,030	16,959	5,547	22,506
高 校 生	1,050	1,171	2,221	1,257	1,282	2,539	1,233	1,269	2,502
その他学生	1,501	1,317	2,818	1,394	1,493	2,887	1,288	1,523	2,811
そ の 他	4,993	4,806	9,799	4,885	4,660	9,545	5,202	5,043	10,245
計	30,729	13,312	44,041	31,377	13,587	44,964	32,714	14,952	47,666

(4) 平成30・令和元年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	平成30年度 県内供給数	令和元年度 県内供給数
4 月	13,691	16,449
5 月	14,873	15,659
6 月	16,649	15,739
7 月	16,638	15,307
8 月	16,922	15,317
9 月	14,339	15,522
10 月	15,610	16,060
11 月	14,369	15,090
12 月	16,190	17,773
1 月	15,205	14,866
2 月	14,184	13,712
3 月	14,129	17,065
合 計	182,799	188,559

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上

<金色有功章>

市町村	人数
青森市	17
弘前市	16
八戸市	10
黒石市	1
十和田市	2
三沢市	1
むつ市	4
鶴田町	3
おいらせ町	2
東北町	1
六戸町	1
佐井村	1
計	59

◎献血回数 70回以上

<銀色有功章>

市町村	人数
青森市	34
弘前市	23
八戸市	6
黒石市	5
五所川原市	4
つがる市	4
十和田市	5
三沢市	1
むつ市	3
平川市	2
おいらせ町	1
東北町	1
野辺地町	1
六戸町	1
五戸町	1
南部町	1
鱒ヶ沢町	1
外ヶ浜町	2
平内町	1
藤崎町	3
大鰐町	2
田舎館村	3
六ヶ所村	1
東通村	1
計	107



10. 活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況

令和元年度の会員（社員）増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、県民に対する赤十字への理解浸透を図り、次のとおり展開した。

（1）令和元年度目標額

① 目標額 216,000,000円

(内訳)

地区分区目標額 202,980,000円

支部目標額 13,020,000円

② 運動の時期

平成31年2月1日から同月28日までを「運動強調月間」とし、通年募集した。

（2）会員（社員）増強・活動資金増収運動にかかる主な強化策

① 地区分区事務委員を対象とした意見交換会の開催（隔年開催）

本県における会員（社員）増強・活動資金増収運動にかかる効果的な募集運動体制の構築等について県内4会場において意見交換会を行い、共通理解を図った。

会場	開催期日	場所	参加状況
青森	8月26日	日赤県支部	10名 郡(1) 市(2) 町村(7)
五所川原	8月27日	五所川原市役所	12名 郡(1) 市(3) 町村(8)
八戸	8月28日	八戸赤十字病院	11名 郡(2) 市(3) 町村(5)
むつ	8月29日	むつ市役所	8名 郡(1) 市(1) 町村(6)

② 新しい活動資金募集の展開

口座振替やクレジットカード決済により活動資金協力を行う会員、遺産相続に伴い活動資金協力を行う遺贈の募集強化のほか、企業によるCSR（企業の社会貢献）活動の推進や法人会員への訪問募集など、新しい活動資金募集活動の強化を図った。

（新しい活動資金募集にかかる令和元年度の実績については、（5）赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移についての⑤法人会員（社員）の確保・増進、（6）口座振替会員（社員）の推移について、（8）支部直轄扱いの推移についてを参照）

③ 社員制度の見直しにかかる周知

平成30年度の募集運動に引き続き、日本赤十字社定款の改正（平成29年4月1日施行）にもとづく「社員制度の見直し」について、赤十字会員（社員）並びに赤十字奉仕者への理解促進を図った。

（3）令和元年度会員（社員）増強・活動資金増収運動の状況について

① 募集実績額

令和元年度の募集実績額は前年度比8.91%の減となった。主なる減収の要因としては、市地区における活動資金の減、町村分区における大口活動資金の減、支部における法人会員の大口活動資金の減が挙げられる。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	
総額	216,000,000	181,161,827	83.87	
内訳	地区分区目標額	202,980,000	148,061,923	72.94
	支部目標額	13,020,000	33,099,904	254.22

② 令和元年度会員（社員）増強・活動資金増収運動の実績表

地区・分区分別		区分			地区・分区分別		区分		
		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)			A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)
市	青森市	42,798,000	24,574,073	57.42	南地区	藤崎町	2,234,000	2,087,400	93.44
	旧青森市	39,987,000	22,187,470	55.49		大鰐町	2,013,000	1,367,400	67.93
	旧浪岡町	2,811,000	2,386,603	84.90		田舎館村	1,234,000	1,607,381	130.26
	弘前市	25,997,000	12,303,064	47.32		計	5,481,000	5,062,181	92.36
	八戸市	33,941,000	21,067,053	62.07	北地区	鶴田町	2,228,000	1,914,300	85.92
	黒石市	5,151,000	3,136,200	60.89		中泊町	2,262,000	1,932,110	85.42
	五所川原市	8,561,000	6,083,170	71.06		旧中里町	1,616,000	1,139,200	70.50
	旧五所川原市	6,384,000	4,310,370	67.52		旧小泊村	646,000	792,910	122.74
	旧金木町	1,703,000	1,252,100	73.52	計	4,490,000	3,846,410	85.67	
	旧市浦村	474,000	520,700	109.85	上北地区	野辺地町	2,363,000	1,845,000	78.08
	十和田市	9,336,000	6,483,400	69.45		七戸町	2,674,000	2,727,500	102.00
	三沢市	5,761,000	3,812,864	66.18		旧七戸町	1,516,000	1,265,600	83.48
	むつ市	9,619,000	6,735,205	70.02		旧天間林村	1,158,000	1,461,900	126.24
	旧むつ市	6,632,000	4,705,705	70.95		六戸町	1,401,000	1,936,700	138.24
	旧川内町	973,000	662,900	68.13		横浜町	822,000	847,500	103.10
	旧大畑町	1,580,000	980,500	62.06		東北町	2,795,000	2,519,000	90.13
	旧脇野沢	434,000	386,100	88.96		六ヶ所村	1,680,000	1,621,994	96.55
	つがる市	5,786,000	5,814,700	100.50		計	11,735,000	11,497,694	97.98
	平川市	4,886,000	6,124,034	125.34		下北地区	大間町	1,020,000	663,400
	旧尾上町	1,339,000	1,664,684	124.32	東通村		1,214,000	1,120,700	92.31
旧平賀町	3,013,000	4,013,850	133.22	風間浦村	465,000		442,000	95.05	
旧碓ヶ関村	534,000	445,500	83.43	佐井村	501,000		518,550	103.50	
				計	3,200,000		2,744,650	85.77	
東地区	計	151,836,000	96,133,763	63.31	三戸地区	三戸町	1,902,000	2,248,000	118.19
	平内町	2,314,000	2,208,000	95.42		五戸町	2,930,000	4,082,800	139.34
	今別町	764,000	741,200	97.02		田子町	1,049,000	1,006,750	95.97
	蓬田村	508,000	818,500	161.12		南部町	3,161,000	3,582,400	113.33
	外ヶ浜町	1,474,000	1,451,100	98.45		階上町	2,062,000	2,148,450	104.19
	計	5,060,000	5,218,800	103.14		新郷村	434,000	601,000	138.48
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	2,126,850	101.86	おいらせ町	2,912,000	3,939,575	135.29	
	深浦町	1,903,000	1,539,600	80.90	計	14,450,000	17,608,975	121.86	
	計	3,991,000	3,666,450	91.87	支部直轄扱	13,020,000	33,099,904	254.22	
中地区	西目屋村	315,000	315,000	100.00	市	151,836,000	96,133,763	63.31	
	板柳町	2,422,000	1,968,000	81.26	町村合計	51,144,000	51,928,160	101.53	
	計	2,737,000	2,283,000	83.41	市町村合計	202,980,000	148,061,923	72.94	
				合計	216,000,000	181,161,827	83.87		

※日赤本社が募集を行っている口座振替等の実績は支部直轄扱に含む

③ 令和元年度 地区区分別の活動資金達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合計	前年度との比較
150%以上		蓬田村						1	-1
140%以上 150%未満								0	-3
130%以上 140%未満				田舎館村	六戸町		五戸町 新郷村 おいらせ町	5	2
120%以上 130%未満	平川市							1	-1
110%以上 120%未満	八戸市南郷						三戸町 南部町	3	1
100%以上 110%未満	つがる市 五所川原市市浦		鱒ヶ沢町	西目屋村	七戸町 横浜町	佐井村	階上町	8	-1
計	4	1	1	2	3	1	6	18	-3
90%以上 100%未満		平内町 今別町 外ヶ浜町		藤崎町	東北町 六ヶ所村	東通村 風間浦村	田子町	9	3
80%以上 90%未満	青森市浪岡 むつ市脇野沢		深浦町 鶴田町 中泊町	板柳町				6	0
70%以上 80%未満	五所川原市金木 むつ市				野辺地町			3	0
60%以上 70%未満	八戸市 黒石市 五所川原市 十和田市 三沢市 むつ市川内 むつ市大畑			大鰐町		大間町		9	1
60%未満	青森市 弘前市							2	0
計	13	3	3	3	3	3	1	29	4

※各市町村の達成率は、本社取扱いの口座振替分（クレジットカード決済含む）を除いた実績額にもとづくものである。

④ 令和元年度活動資金実績額の対前年度比較表

区分 地区・分区別		令和元年度		A / B 目標額 達成率	C 平成30年度 実績額(円)	B - C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				C / B	達成率
市地区	青森市	39,987,000	22,187,470	55.49%	22,945,969	-758,499	96.69%	-3.31%
	青森市浪岡	2,811,000	2,386,603	84.90%	2,419,410	-32,807	98.64%	-1.36%
	弘前市	25,997,000	12,303,064	47.32%	13,263,660	-960,596	92.76%	-7.24%
	八戸市	33,051,000	20,070,353	60.73%	20,121,340	-50,987	99.75%	-0.25%
	八戸市南郷	890,000	996,700	111.99%	1,027,300	-30,600	97.02%	-2.98%
	黒石市	5,151,000	3,136,200	60.89%	3,386,061	-249,861	92.62%	-7.38%
	五所川原市	6,384,000	4,310,370	67.52%	4,426,700	-116,330	97.37%	-2.63%
	五所川原市金木	1,703,000	1,252,100	73.52%	1,261,200	-9,100	99.28%	-0.72%
	五所川原市市浦	474,000	520,700	109.85%	529,600	-8,900	98.32%	-1.68%
	十和田市	9,336,000	6,483,400	69.45%	8,963,400	-2,480,000	72.33%	-27.67%
	三沢市	5,761,000	3,812,864	66.18%	3,874,128	-61,264	98.42%	-1.58%
	むつ市	6,632,000	4,705,705	70.95%	4,437,250	268,455	106.05%	6.05%
	むつ市川内	973,000	662,900	68.13%	677,300	-14,400	97.87%	-2.13%
	むつ市大畑	1,580,000	980,500	62.06%	998,500	-18,000	98.20%	-1.80%
	むつ市脇野沢	434,000	386,100	88.96%	403,000	-16,900	95.81%	-4.19%
	つがる市	5,786,000	5,814,700	100.50%	5,829,944	-15,244	99.74%	-0.26%
平川市	4,886,000	6,124,034	125.34%	6,187,031	-62,997	98.98%	-1.02%	
計	151,836,000	96,133,763	63.31%	100,751,793	-4,618,030	95.42%	-4.58%	
東地区	平内町	2,314,000	2,208,000	95.42%	3,274,000	-1,066,000	67.44%	-32.56%
	今別町	764,000	741,200	97.02%	785,300	-44,100	94.38%	-5.62%
	蓬田村	508,000	818,500	161.12%	838,000	-19,500	97.67%	-2.33%
	外ヶ浜町	1,474,000	1,451,100	98.45%	1,507,100	-56,000	96.28%	-3.72%
	計	5,060,000	5,218,800	103.14%	6,404,400	-1,185,600	81.49%	-18.51%
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	2,126,850	101.86%	2,159,100	-32,250	98.51%	-1.49%
	深浦町	1,903,000	1,539,600	80.90%	1,584,900	-45,300	97.14%	-2.86%
	計	3,991,000	3,666,450	91.87%	3,744,000	-77,550	97.93%	-2.07%
中地区	西目屋村	315,000	315,000	100.00%	320,000	-5,000	98.44%	-1.56%
	板柳町	2,422,000	1,968,000	81.26%	1,982,200	-14,200	99.28%	-0.72%
	計	2,737,000	2,283,000	83.41%	2,302,200	-19,200	99.17%	-0.83%
南地区	藤崎町	2,234,000	2,087,400	93.44%	2,160,920	-73,520	96.60%	-3.40%
	大鱒町	2,013,000	1,367,400	67.93%	1,409,100	-41,700	97.04%	-2.96%
	田舎館村	1,234,000	1,607,381	130.26%	1,621,080	-13,699	99.15%	-0.85%
	計	5,481,000	5,062,181	92.36%	5,191,100	-128,919	97.52%	-2.48%
北地区	鶴田町	2,228,000	1,914,300	85.92%	1,983,700	-69,400	96.50%	-3.50%
	中泊町	2,262,000	1,932,110	85.42%	1,940,600	-8,490	99.56%	-0.44%
	計	4,490,000	3,846,410	85.67%	3,924,300	-77,890	98.02%	-1.98%
上北地区	野辺地町	2,363,000	1,845,000	78.08%	1,843,700	1,300	100.07%	0.07%
	七戸町	2,674,000	2,727,500	102.00%	2,740,500	-13,000	99.53%	-0.47%
	六戸町	1,401,000	1,936,700	138.24%	2,010,800	-74,100	96.31%	-3.69%
	横浜町	822,000	847,500	103.10%	853,500	-6,000	99.30%	-0.70%
	東北町	2,795,000	2,519,000	90.13%	2,605,700	-86,700	96.67%	-3.33%
	六ヶ所村	1,680,000	1,621,994	96.55%	1,439,600	182,394	112.67%	12.67%
	計	11,735,000	11,497,694	97.98%	11,493,800	3,894	100.03%	0.03%
下北地区	大間町	1,020,000	663,400	65.04%	670,000	-6,600	99.01%	-0.99%
	東通村	1,214,000	1,120,700	92.31%	1,156,200	-35,500	96.93%	-3.07%
	風間浦村	465,000	442,000	95.05%	607,500	-165,500	72.76%	-27.24%
	佐井村	501,000	518,550	103.50%	537,750	-19,200	96.43%	-3.57%
計	3,200,000	2,744,650	85.77%	2,971,450	-226,800	92.37%	-7.63%	
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,248,000	118.19%	2,305,200	-57,200	97.52%	-2.48%
	五戸町	2,930,000	4,082,800	139.34%	3,970,700	112,100	102.82%	2.82%
	田子町	1,049,000	1,006,750	95.97%	1,030,200	-23,450	97.72%	-2.28%
	南部町	3,161,000	3,582,400	113.33%	3,672,550	-90,150	97.55%	-2.45%
	階上町	2,062,000	2,148,450	104.19%	3,150,800	-1,002,350	68.19%	-31.81%
	新郷村	434,000	601,000	138.48%	612,500	-11,500	98.12%	-1.88%
	おいらせ町	2,912,000	3,939,575	135.29%	3,295,500	644,075	119.54%	19.54%
計	14,450,000	17,608,975	121.86%	18,037,450	-428,475	97.62%	-2.38%	
支部直轄	13,020,000	33,099,904	254.22%	44,054,455	-10,954,551	75.13%	-24.87%	
市計	151,836,000	96,133,763	63.31%	100,751,793	-4,618,030	95.42%	-4.58%	
町村合計	51,144,000	51,928,160	101.53%	54,068,700	-2,140,540	96.04%	-3.96%	
市町村合計	202,980,000	148,061,923	72.94%	154,820,493	-6,758,570	95.63%	-4.37%	
合計	216,000,000	181,161,827	83.87%	198,874,948	-17,713,121	91.09%	-8.91%	

(4) 活動資金の推移について

目標額対比並びに対前年度比の3ヵ年の活動資金実績の推移は次のとおりである。

① 対目標額

(単位：円)

年 度	目 標 額	実 績 額	目 標 額 対 比	
			増 減 額	率 (%)
平成29年度	216,000,000	182,034,427	▲ 33,965,573	84.28
平成30年度		198,874,948	▲ 17,125,052	92.07
令和元年度		181,161,827	▲ 34,838,173	83.87

② 対前年度実績額

(単位：円)

年 度	実 績 額	前 年 度 対 比	
		増 減 額	増 減 率 (%)
平成29年度	182,034,427	▲ 11,161,765	▲ 5.78
平成30年度	198,874,948	16,840,521	9.25
令和元年度	181,161,827	▲ 17,713,121	▲ 8.91

(5) 会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移について

会員（社員）増強・活動資金増収運動において、当支部が定める重点活動項目の推移は次のとおりである。

① 継続納入の促進（地区・分区募集分）

(単位：件)

年 度	協力者数 (a)	新規加入 (b)	脱退等 (c)	継続協力 (a)-(b)-(c)	前年度対比	
					増減数	増減率 (%)
平成29年度	215,859	7,805	12,354	195,700	▲ 5,202	▲ 2.59
平成30年度	277,079	7,280	13,551	256,248	60,548	30.94
令和元年度	204,829	7,422	13,284	184,123	▲ 72,125	▲ 28.15

② 新規会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

(単位：人)

年 度	新規加入 (a)	脱退等 (b)	増減 (a)-(b)
平成29年度	7,805	12,354	▲ 4,549
平成30年度	7,280	13,551	▲ 6,271
令和元年度	7,422	13,284	▲ 5,862

③ 会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

（単位：人）

年 度	協力会員 (寄付者を含む)	会 員	増 減	
			協力会員	会 員
平成29年度	143,486	72,373	▲ 842	▲ 4,428
平成30年度	274,098	2,981	130,612	▲ 69,392
令和元年度	201,476	3,353	▲ 72,622	372

④ 有功章社員の確保・増進（支部募集分、地区・分区募集分）

（単位：件）

年 度	銀色有功章	金色有功章
平成29年度	26	6
平成30年度	22	22
令和元年度	13	14

⑤ 法人会員（社員）の確保・増進（支部募集分、地区・分区募集分）

年 度	募集状況（単位：件）			募集状況	
	募集数（件）	協力法人（件）	協力率（%）	実績額（円）	増減率（%）
平成29年度	2,652	407	15.35	17,748,995	21.31
平成30年度	2,758	361	13.09	29,119,010	64.06
令和元年度	2,502	397	15.87	15,857,363	-45.54

(6) 口座振替会員（社員）等の確保

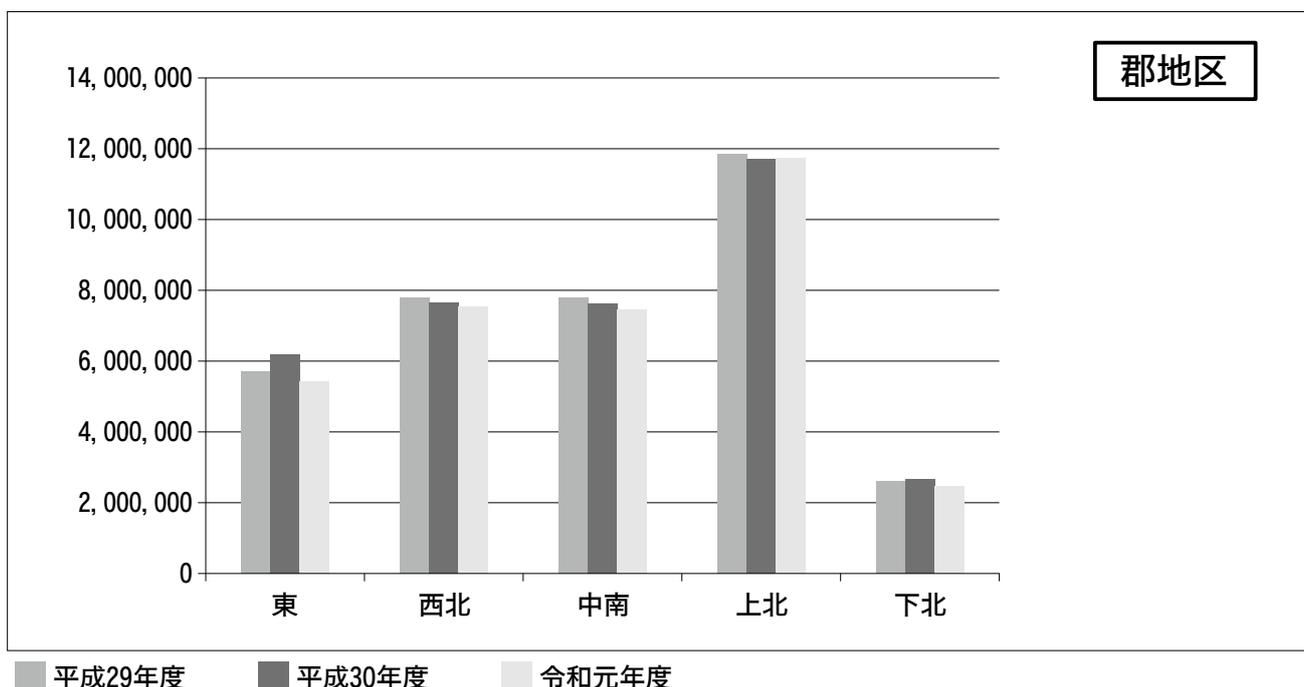
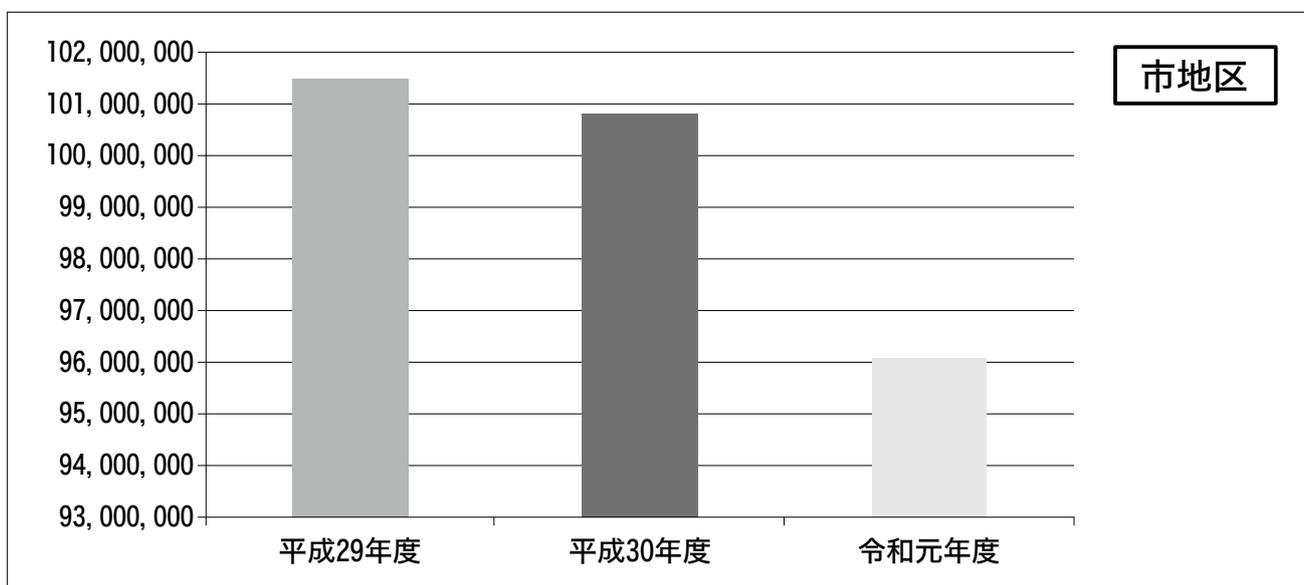
平成18年度より、日赤本社が募集を行っている「口座振替会員（社員）」等の加入状況並びに実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

年 度	実績額（単位：円）		件数（単位：件）		摘 要
		増減率(%)		増減率(%)	
平成29年度	2,345,000	▲ 8.34	508	0.59	口座引落、クレジットカード決済 ※実績額は、当該会員在住の市地区・町村 分区の実績として、事業費・事務費交付 金を郡・市地区、町村分区に交付してい るもの
平成30年度	2,543,000	8.44	485	▲ 4.53	
令和元年度	2,550,000	0.28	535	10.31	

(7) 郡市地区別の推移について

郡市地区別の3ヵ年の推移は次のとおりである。

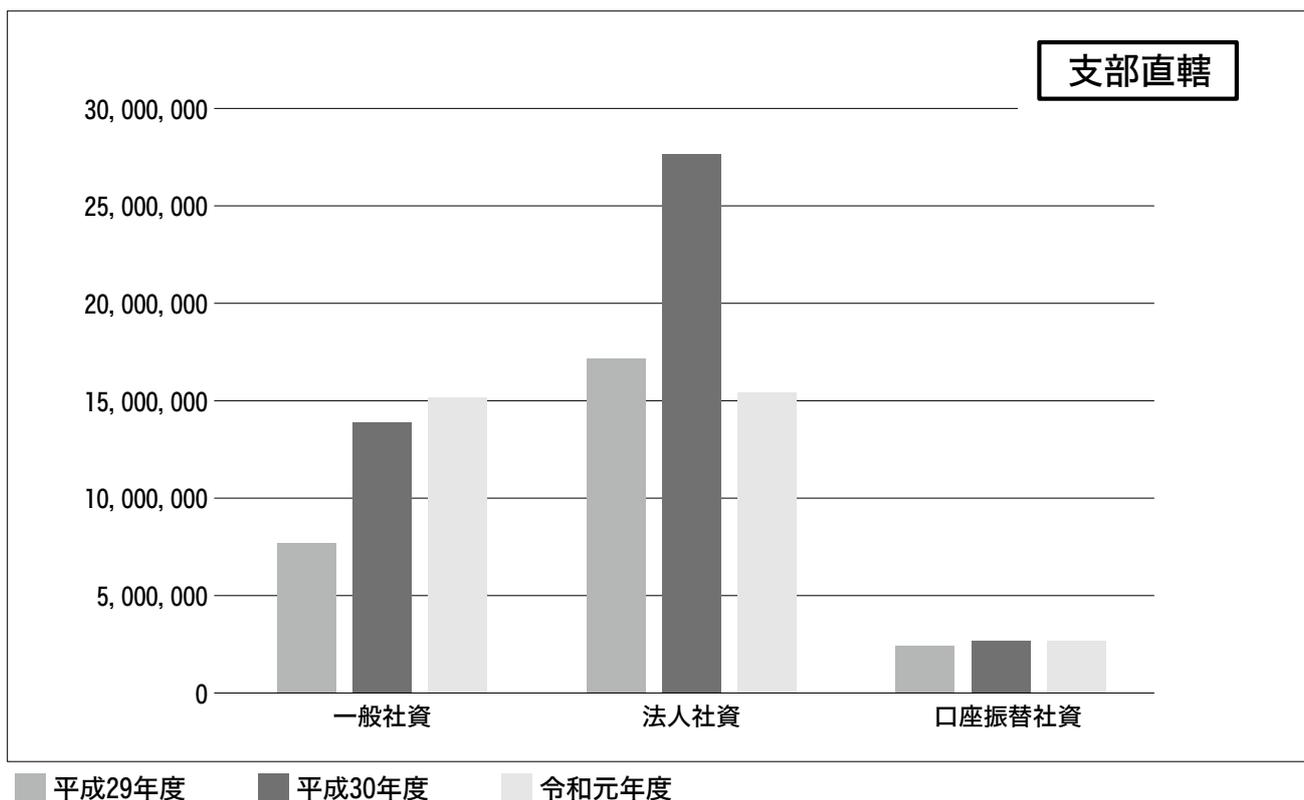
全 県	(単位：円)			
地区名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備 考
市	101,424,927	100,751,793	96,133,763	
東	5,569,750	6,404,400	5,218,800	
西 北	7,772,550	7,668,300	7,512,860	
中 南	7,699,914	7,493,300	7,345,181	
上 北	11,676,651	11,493,800	11,497,694	
下 北	2,918,900	2,971,450	2,744,650	
三 戸	17,607,560	18,037,450	17,608,975	
支 部	27,364,175	44,054,455	33,099,904	
計	182,034,427	198,874,948	181,161,827	



(8) 支部直轄扱いの推移について

支部直轄扱い社資実績の3ヵ年の推移は次のとおりである。

支部直轄		(単位：円)		
区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備 考
一 般 社 資	7,770,180	13,892,445	15,192,541	
法 人 社 資	17,248,995	27,619,010	15,357,363	
口座振替社資	2,345,000	2,543,000	2,550,000	クレジットカード決済含む
計	27,364,175	44,054,455	33,099,904	



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、以下のとおり全国赤十字大会が開催された。

平成の30年間、名誉総裁を務められた上皇后陛下から引き継がれ、5月1日付で新名誉総裁となられた皇后陛下と共に、名誉副総裁である各妃殿下がご臨席された。

式典では、赤十字運動に著しい功績があった個人や団体が表彰され、本県から有功章受章代表として参会した株式会社藤本建設（代表取締役 長谷川 学）が皇后陛下より直接、有功章を授与された。

期 日 5月22日
場 所 東京都
「明治神宮会館」
参加者数 約1,900名
支部参加者 13名



全国赤十字大会に参会された本県の赤十字関係者

有功章受章代表は下表のとおり

表彰種別	会社名	参会者名
金色有功章	株式会社藤本建設	代表取締役 長谷川 学

参加者は下表のとおり（順不同）

氏 名	役職名等	氏 名	役職名等
高 橋 博 美	日赤本社理事	小 澤 本 江	青森県赤十字有功会理事
気 田 福 俊	会員・寄付者	山 本 仁 志	赤十字奉仕団指導講師
木 明 昭一郎	日赤代議員・評議員	石 村 光 也	青少年赤十字指導講師
日 沢 忠 道	日赤青森県支部評議員	中 居 裕 順	八戸赤十字病院経営管理監
工 藤 順 巳	青森県赤十字有功会長	近 藤 宏	日赤青森県支部事務局長
村 井 達	青森県赤十字有功会副会長	大 石 敦 史	同 組織振興課会員係長

(2) 赤十字活動資金功労表彰伝達式

令和元年中に、青森県支部に対して赤十字活動資金の支援をいただいた個人・企業・団体に対して、令和2年3月27日にホテル青森（青森市）において日本赤十字社並びに国の表彰規則にもとづく有功章等を伝達することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への配慮から、伝達式を中止とした。

受章者件数 72個人・企業・団体

功労区分		表彰区分				計
		金色 有功章	銀色 有功章	社長 感謝状	厚生労働大臣 感謝状（※）	
社 資 功 労	個人	11	12	9	7	39
	法人・団体	6	12	15	0	33
合 計		17	24	24	7	72

（※）国の表彰

(3) 広報活動の実施状況について

① 赤十字会員（社員）、活動資金の募集運動用資材の作成と配付

1) 世帯配付用広報チラシ

作成数：460,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配付、「道の駅」等市町村主要施設に設置

2) 奉仕者募集の手順書

作成数：17,000部

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

3) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

作成数：23,000部

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

4) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

作成数：11,000枚

仕様：A4、三つ折、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

5) 赤十字会員（社員）加入・寄付申込書（兼領収書控）

作成数：95,000枚（380,000人分）

仕様：B4、両面2色刷り

活用内容：赤十字会員（社員）の加入、活動資金の納付

②資材による広報活動

1) リーフレット「赤十字の使命と活動2019」（日赤本社作成）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配付

2) 2019広報ポスター（日赤本社作成）

活用内容：イベント等での掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作成）

発行回数：毎月発行

発行数：1回につき1,900部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

※2千円以上の支援を行う会員に対し、情報提供として「赤十字NEWS」4月号（日本赤十字社の令和元年度予算概要掲載号）及び7月号（日本赤十字社の平成30年度決算報告掲載号）を送付

4) 支部報「日赤あおもり」（日赤県支部作成）

発行回数：季刊発行（年4回）

発行数：1回につき1,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

③ メディア等による広報活動

1) 新聞広告の掲載

令和2年3月11日「東日本大震災から9年」企画特集で事業紹介記事の掲載と赤十字会員（社員）、活動資金の募集広告を掲載

2) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿依頼

3) ホームページの運用

赤十字活動の紹介のほか、赤十字活動資金の募集、赤十字ボランティアの加入の方法などを広報展開

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業の実施

地区分区が各自治体等で開催するイベントで、赤十字活動の広報展開を行った。

《令和元年度実施状況》

市 地 区：五所川原市金木、十和田市、むつ市大畑、つがる市

町村分区：外ヶ浜町、大鱈町、野辺地町、七戸町、東北町、横浜町、階上町、

おいらせ町

(計12地区・分区)

2) 赤十字レッドライトアッププロジェクト2019

紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、アンリー・デュナンと日本赤十字社創始者の佐野常民が強く訴えた「人道」への理解を深めていただくことを目的として、レッドライトアッププロジェクト2019を実施した。

期 日 5月8日

施設名称 津軽ダム

事業所名 国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所

3) 防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～

過去の災害の教訓を忘れることなく、将来起きる災害に対する防災・減災意識の向上をより地域社会に普及・浸透させるため、関係機関と協力し、パネルやポスター掲示、リーフレットを配布した。

開催期間：令和2年3月1日～31日

開催場所：日本赤十字社青森県支部、地区分区、NHK青森放送局、青森地方气象台、青森海上保安部、八戸海上保安部など



堤体を赤く染め、人道の理解を深めた津軽ダム
(撮影・提供 国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所)

12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の『親睦と奉仕』を合言葉に『人道・博愛』を使命とする赤十字事業を支援し続け、令和元年5月、40年目を迎えた。

令和2年3月31日現在、会員数は、383名となっている。

(1) 有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
4	1,300,000	28	10,347,955	32	11,647,955

(2) 青森県赤十字有功会・会員数調

(令和2年3月31日 現在)

市郡別	区 分	金 色 有 功 章		銀 色 有 功 章		計
		個 人	法 人	個 人	法 人	
青 森 市		50	34	21	6	111
弘 前 市		16	17	10	2	45
八 戸 市		29	33	12	3	77
黒 石 市		0	1	1	0	2
五 所 川 原 市		5	0	4	2	11
十 和 田 市		8	6	5	1	20
三 沢 市		3	3	5	0	11
む つ 市		8	4	5	0	17
つ が る 市		2	1	2	0	5
平 川 市		0	0	0	0	0
小 計		121	99	65	14	299
東 津 軽 郡		7	3	4	4	18
西 津 軽 郡		2	2	1	1	6
中 津 軽 郡		1	0	0	0	1
南 津 軽 郡		3	0	1	0	4
北 津 軽 郡		4	0	1	1	6
上 北 郡		9	6	7	3	25
下 北 郡		2	3	2	0	7
三 戸 郡		14	1	2	0	17
小 計		42	15	18	9	84
合 計		163	114	83	23	383

※会員総数 383 (内訳) 個人 246 名
法人 137 社

(3) 青森県赤十字有功会主要事業報告

項 目	概 要		
①有功会員による仲間づくり運動の推進	令和元年度協力分	新規有功章等募集 4件 1,300,000円 会員による寄付金 28件 10,347,955円 計32件 11,647,955円	令和2年3月31日現在 個人・法人会員数 383 (前年度 429)
②地区赤十字有功会への活動の助成	5月8日	弘前市赤十字有功会 28,000円 むつ市赤十字有功会 20,000円 平内町赤十字有功会 20,000円 蓬田村赤十字有功会 20,000円 計 88,000円	
③有功会報の発行	8月1日	第74号発行	全会員と関係者へ配付
④各種義援金等寄託	2月13日	令和元年8月豪雨災害 令和元年台風15号千葉県災害 令和元年台風15号東京都災害 令和元年台風19号災害	(各5,000円) 計 20,000円
⑤青少年・こども赤十字活動支援	2月26日	青少年こども赤十字活動用記念品贈呈 赤十字タグ付タオルハンカチ	180枚
⑥各種行事等 ・監査 ・第56回役員会	6月11日 ”	平成30年度事業並びに会計収支監査 1. 平成30年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について	於：日赤県支部(青森市) ”
・令和元年度通常総会	7月16日	1. 平成30年度事業報告並びに収支決算について 2. 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 講演 『青森県の血液事業』 青森県赤十字血液センター 所長 柴崎 至 懇親パーティー	於：青森国際ホテル(青森市) ・総 会：48名出席 ・パーティー：42名出席
・地区有功会総会	5月31日 7月2日 7月18日 9月19日	むつ市赤十字有功会総会 弘前市赤十字有功会総会 蓬田村赤十字有功会総会 平内町赤十字有功会総会	於：プラザホテルむつ(むつ市) 於：弘前パークホテル(弘前市) 於：よもぎ温泉(蓬田村) 於：さん平(平内町)
・日赤紺綬・有功会会長協議会総会	10月10日 ～11日	工藤会長、事務局員出席	於：ホテル日航福岡(福岡県)
・研修旅行 「赤十字の旗ひるがえる里 佐井村を訪ねて～三上剛太郎 生誕百五十年祭～」	11月10日 ～11日	参加者20名	於：佐井村他
・新年祝賀会員互礼会	1月7日 9日 10日 14日	青森会場 会員35名 来賓他4名 むつ会場 会員7名 来賓他11名 八戸会場 会員19名 来賓他3名 弘前会場 会員20名 来賓他2名 計 会員81名 来賓他20名	於：青森国際ホテル(青森市) 於：はねやホテル(むつ市) 於：八戸プラザホテル(八戸市) 於：ホテルニューキャッスル(弘前市)

13. 評議員会及び監査

令和元年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第158回支部評議員会

開催年月日 6月17日

開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室

出席状況 評議員 28名

青山祐治副支部長／工藤順巳副支部長／藤野満監査委員／原功監査委員

議長 青山副支部長

審議議案

1. 平成30年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算
2. 平成30年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算
3. 平成30年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算
4. 平成30年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）
5. 任期満了に伴う監査委員の選出

報告

1. 平成30年度 青森県赤十字血液センター 事業報告
2. 「日本赤十字社長期ビジョン」について

② 第159回支部評議員会

開催年月日 2月10日

開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室

出席状況 評議員 25名

三村申吾支部長／工藤順巳副支部長／原功監査委員／若佐谷典人監査委員

議長 三村支部長

審議議案

1. 令和2年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画及び一般会計歳入歳出予算（案）
2. 令和2年度 はまなす医療療育センター 事業計画及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）
3. 令和2年度 八戸赤十字病院 事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）
4. 令和元年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）

報告

令和2年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）

(2) 監査

令和元年度決算監査

施設名	実施年月日	監査員
日本赤十字社青森県支部	5月14日	藤野監査委員 新宅監査委員 原 監査委員
青森県赤十字血液センター	5月14日	
八戸赤十字病院	5月23日・24日	
青森県立はまなす医療療育センター	5月24日	

14. 令和元年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社 資 収 入	181,204,827
委 託 金 等 収 入	315,689
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	4,380,680
繰 入 金 収 入	28,712,768
資 産 収 入	11,983,828
雑 収 入	3,491,508
前 年 度 繰 越 金	10,916,081
収 入 合 計	241,005,381

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	15,421,317
赤十字看護師の養成費	2,047,544
献血普及・管下施設の指導	174,671
救急法・健康生活支援講習等普及	4,709,162
赤十字奉仕団の普及と育成強化	5,749,987
青少年赤十字の普及と育成強化	6,044,005
社会福祉活動	99,267
国際救援活動と国際開発協力事業	818,810
地区・分区の運営	17,515,574
赤十字社員の整備と増強	12,139,617
赤十字思想の普及と広報活動	4,985,073
本社の活動推進	26,514,274
施設繰り出し・補助金	3,588,600
資金積立	0
支部の運営管理	132,384,828
支 出 合 計	232,192,729

収入支出差引額(翌年度繰越)	8,812,652
----------------	-----------

(2) 社会福祉施設特別会計

収入の部	金額 (円)
受託事業収入	788,101,697
その他事業収入	625,679
その他収入	1,424,296
受取利息配当金収入	7
他会計繰入金収入	796,100
その他の活動による収入	344,800
収入合計	791,292,579

支出の部	金額 (円)
人件費支出	598,565,368
事業費支出	90,361,397
事務費支出	70,516,638
支払利息支出	-833,168
その他の支出	139,311
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,126,744
他会計繰入金支出	15,492
その他の活動による支出	33,560,052
支出合計	794,451,834

収入支出差引額	-3,159,255
---------	------------

※外部監査の導入に伴い、今年度決算からあずさ監査法人の指示で賞与引当金に対する見合いの法定福利費を計上したことにより、収入支出差引額がマイナス計上となっている。

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	10,301,254,114
医療外収益	200,125,340
医療社会事業収益	300,000
付帯事業収益	0
特別利益	2,149,573
計	10,503,829,027
事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	10,397,861,713
医療外費用	36,992,137
医療奉仕費用	33,439,068
付帯事業費用	0
特別損失	2,470,043
法人税等	6,364,574
計	10,477,127,535
収入支出差引額	26,701,492

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	218,350,940
資産売却収益	0
その他資本収入	496,381,992
計	714,732,932
事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	241,118,540
借入金等償還	473,614,392
計	714,732,932
収入支出差引額	0

15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役職名	氏名	公職等
支部長	三村 申吾	青森県知事
副支部長	青山 祐治	青森県副知事
同	小林 眞	八戸市長
同	工藤 順巳	協同組合日専連弘前会顧問
監査委員	新宅 清司	元弘前市社会福祉協議会専務理事
同	原 功	元五所川原市役所職員
同	若佐谷 典人	税理士
本社理事	高橋 博美	三沢市シルバー人材センター理事長
本社代議員	高橋 博美	三沢市シルバー人材センター理事長
同	村井 達	八戸赤十字病院運営審議会会長
同	木明 昭一郎	野辺地地区保護司会会長

(2) 評議員（選出区分） ※任期：平成31年2月14日～令和4年2月13日

加川 史（青森市地区）	田中 武（東津軽地区）
鶴賀 晃（青森市地区）	新保 なり子（西北地区）
佐藤 正則（青森市地区）	宮本 はる枝（西北地区）
高橋 文雄（弘前市地区）	前山 誠一（中南地区）
小柳 紀八郎（弘前市地区）	須藤 尚人（中南地区）
黒澤 徹（八戸市地区）	木明 昭一郎（上北地区）
日沢 忠道（八戸市地区）	新館 なみゑ（上北地区）
高瀬 壽男（八戸市地区）	奥本 征雄（下北地区）
谷 清道（黒石市地区）	照井 良清（三戸地区）
小関 光雄（五所川原市地区）	山内 良子（三戸地区）
澤橋 勇（十和田市地区）	村井 達（支部長）
高橋 博美（三沢市地区）	樋口 秀視（支部長）
高野 敏昭（むつ市地区）	柳谷 章二（支部長）
鶴賀 善宏（つがる市地区）	丹藤 節治（支部長）
大里 あさ（平川市地区）	竹田 裕（支部長）

（定数30名）

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していきたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が
取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長期戦略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

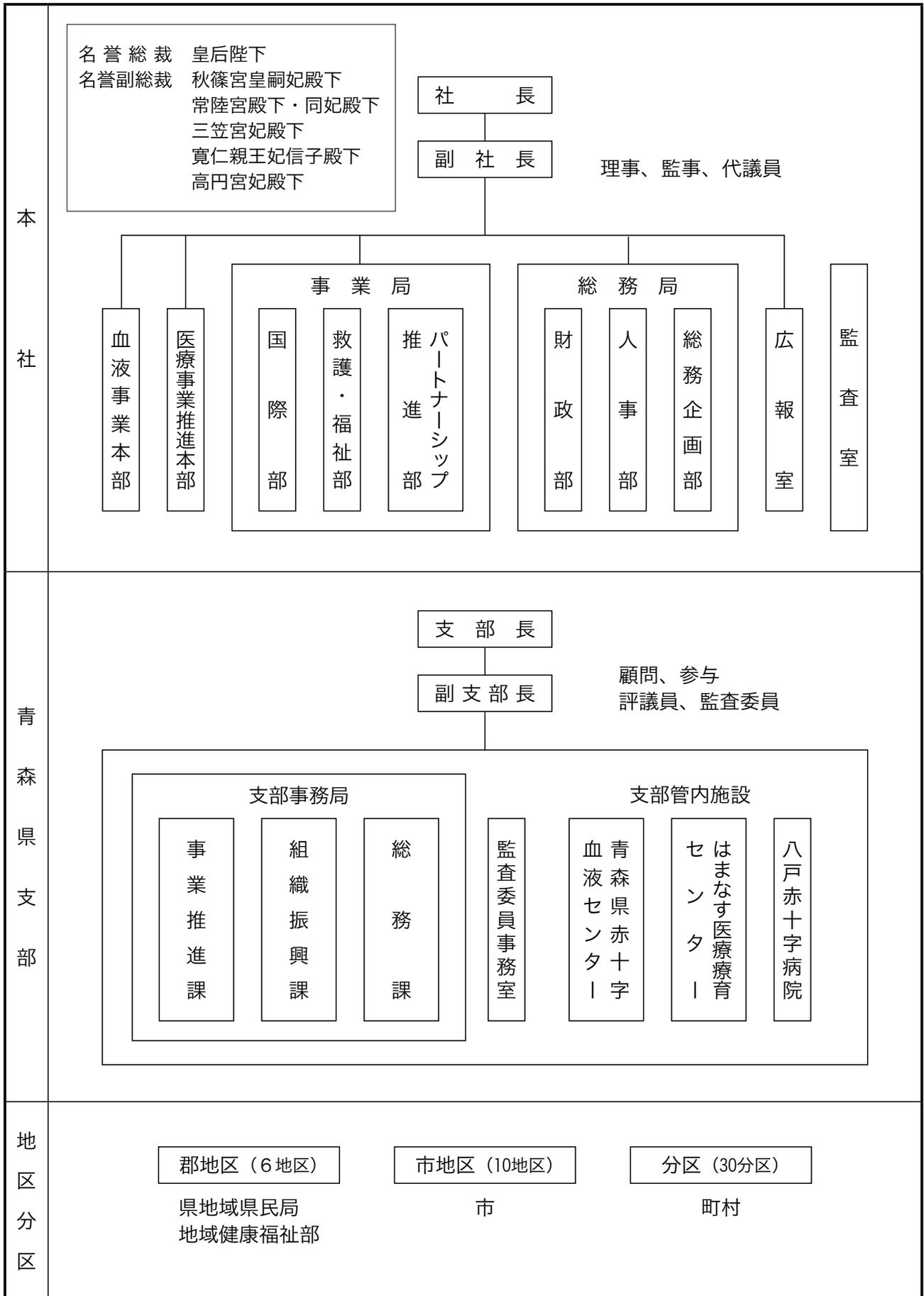
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

赤十字の組織と機構

(令和2年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県支部設立
 明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
 昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数

個人 2,994人/法人 359社

3. 評議員

30人

4. 役員

支 部 長 三村 申吾
 副 支 部 長 青山 祐治、小林 眞、工藤 順巳
 本 社 理 事 高橋 博美
 本 社 代 議 員 高橋 博美、村井 達、木明昭一郎
 支 部 監 査 委 員 新宅 清司、原 功、若佐谷典人

5. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	登 録 数
地 域	47団	8,529人
青 年	3団	148人
特 殊	10団	732人
合 計	60団	9,409人

6. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	210園	12,234人
小 学 校	114校	16,979人
中 学 校	55校	9,364人
高 等 学 校	56校	1,270人
特別支援学校	4校	65人
合 計	439校	39,912人

指導者数5,133人

7. 青森県赤十字有功会員

個人 246名/法人 137社・団体

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	110回	3,746人	78人
水 上 安 全 法	33回	2,185人	34人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼 児 安 全 法	3回	41人	11人
合 計	146回	5,972人	128人

※指導員養成講習を除く

9. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
 東ティモール救急法普及支援事業
 ラオス救急法普及支援事業
 ネパール・バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン
- ・国際活動体験ツアー in Aomori

10. 災害等救護

救 護 班	8班 56名	
無 線 局	基地局 6/移動局 39	
救 援 車 輛	4台	
受 付 義 援 金 (※)	360件 19,437,278円	
配 付 救 援 物 資 (※)	毛 布	342枚
	緊急セット	173個

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床(一般374床、精神60床)

総患者数 (※)		一日平均患者数 (※)	
入院患者	116,416人	入院患者	318.1人
外来患者	159,318人	外来患者	663.8人

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数	
血液センター	1	献血バス	4台
献血ルーム	2	献血運搬車	17台
献血者数 (※)		供給本数 (※)	
血漿成分	7,649人	全血製剤	0本
血小板成分	5,322人	赤血球製剤	69,159本
400ml	32,692人	血漿製剤	19,650本
200ml	2,003人	血小板製剤	99,750本
合 計	47,666人	合 計	188,559本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢体不自由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	561人
青森県赤十字血液センター	64人
はまなす医療療育センター	91人
合 計	727人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (令和2年度当初予算)

：千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	220,000	220,000
社会福祉施設特別会計		
はまなす医療療育センター	887,103	887,103
医療事業特別会計		
八 戸 赤 十 字 病 院	10,015,087	10,687,028

・特に断りのない統計数字等は、令和2年4月1日現在。

※は令和元年度分。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

施設名	住所	TEL・FAX
八戸赤十字病院	〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2	TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121
日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター	〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729	TEL 0178-31-5005 FAX 0178-31-4144
青森県赤十字血液センター	〒030-0966 青森市花園2-19-11	TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

令和元年度 事業年報

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861

青森市長島一丁目3番1号

TEL 017-722-2011

FAX 017-735-3502
